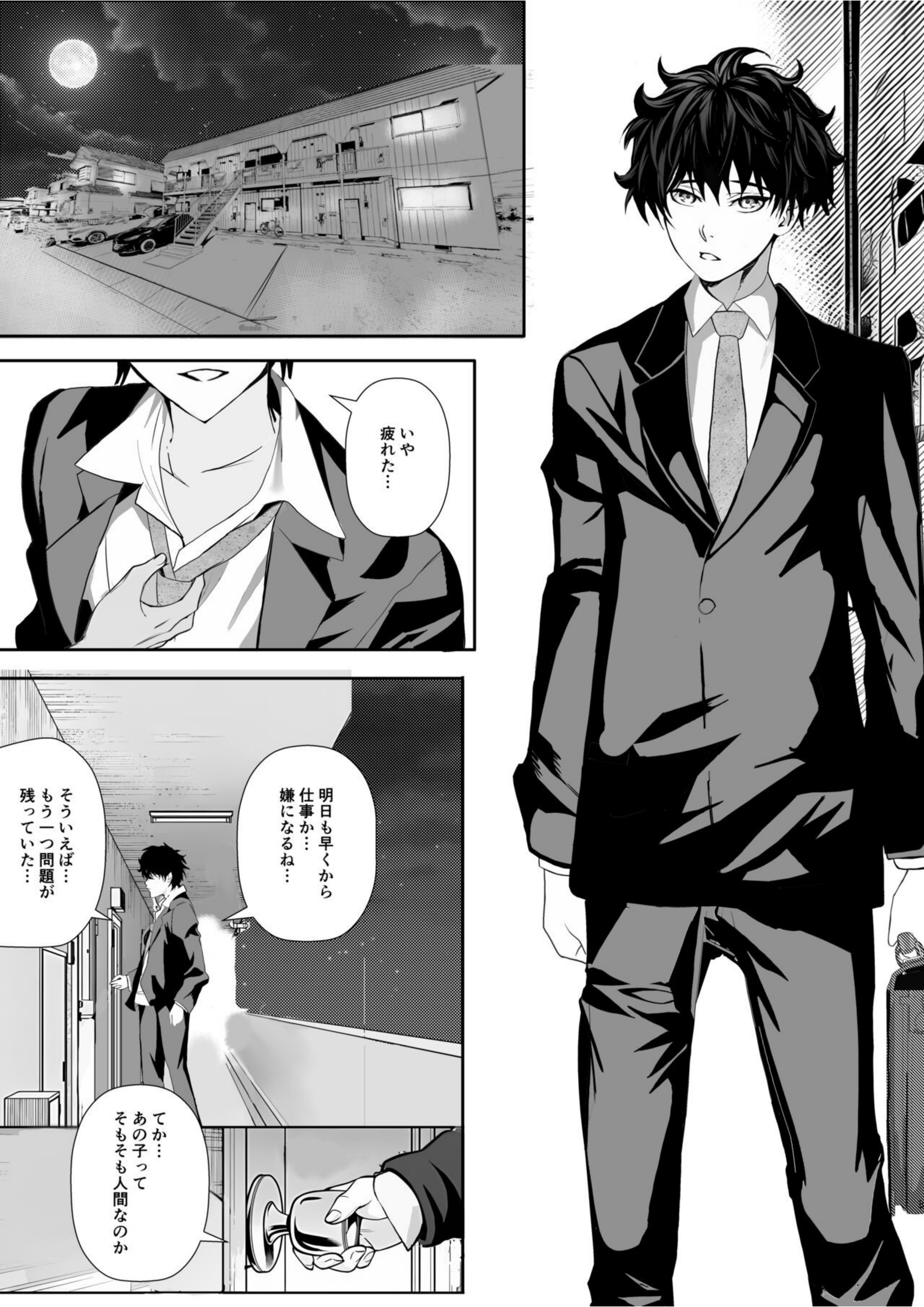
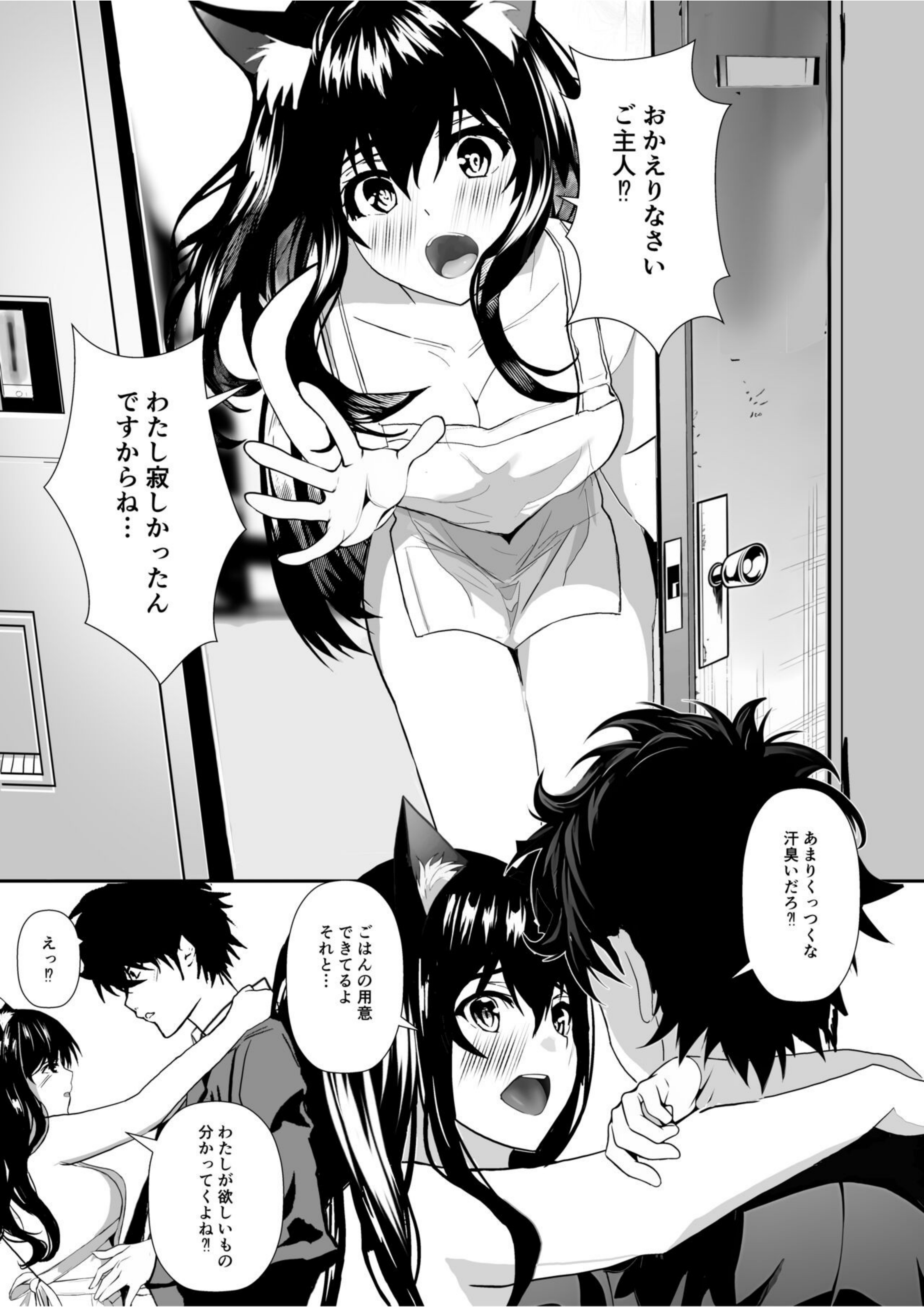
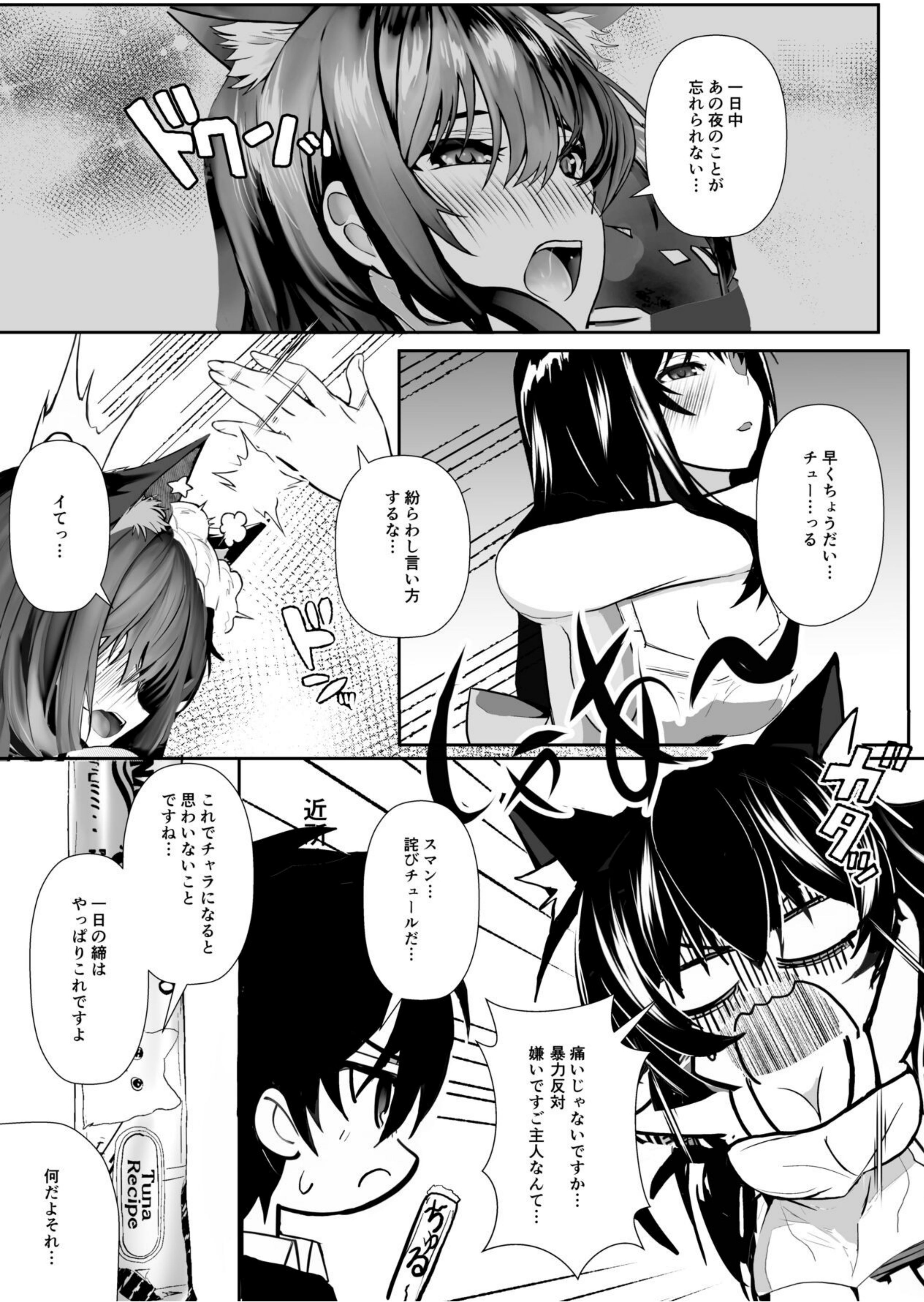
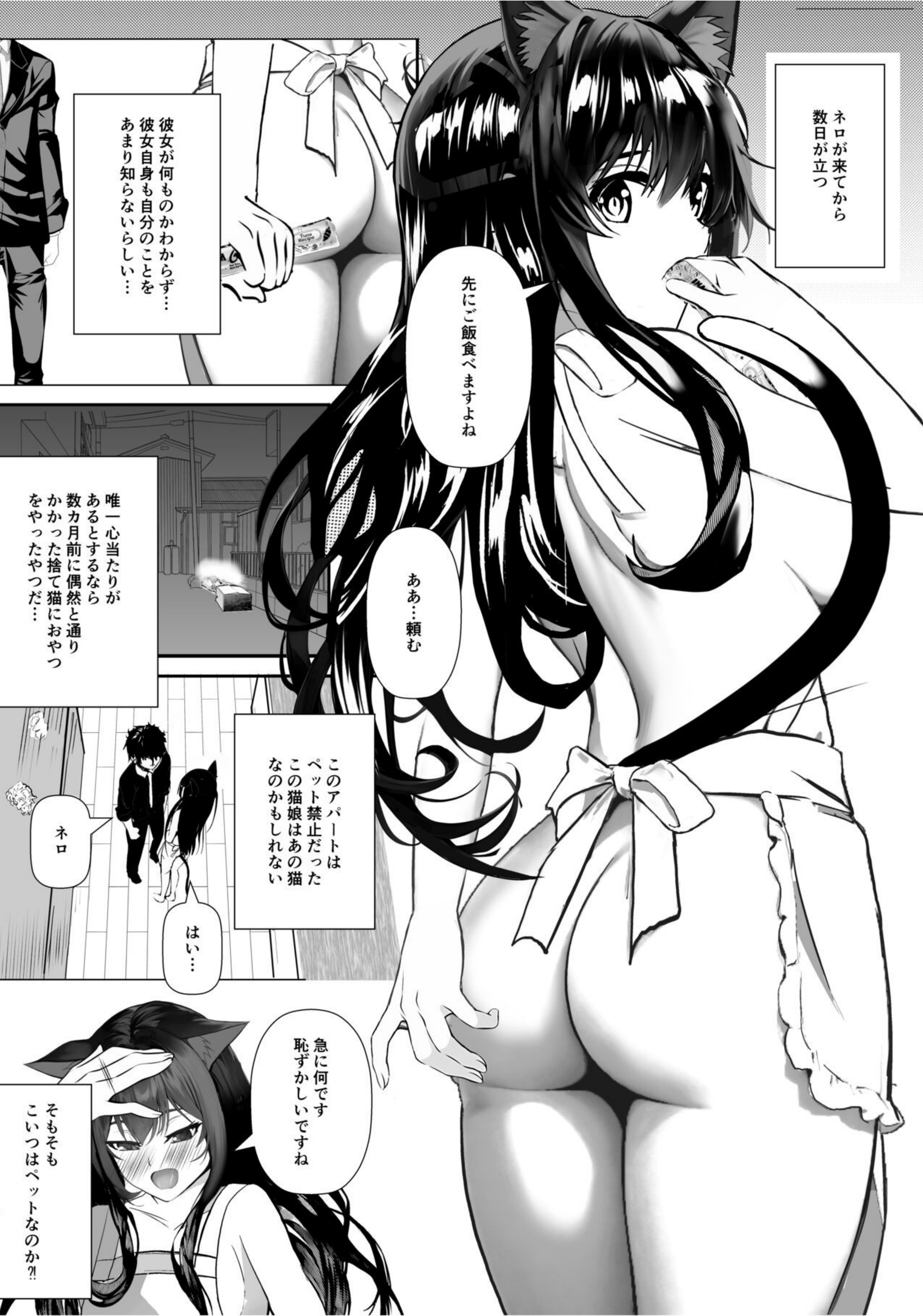
ペットな彼女

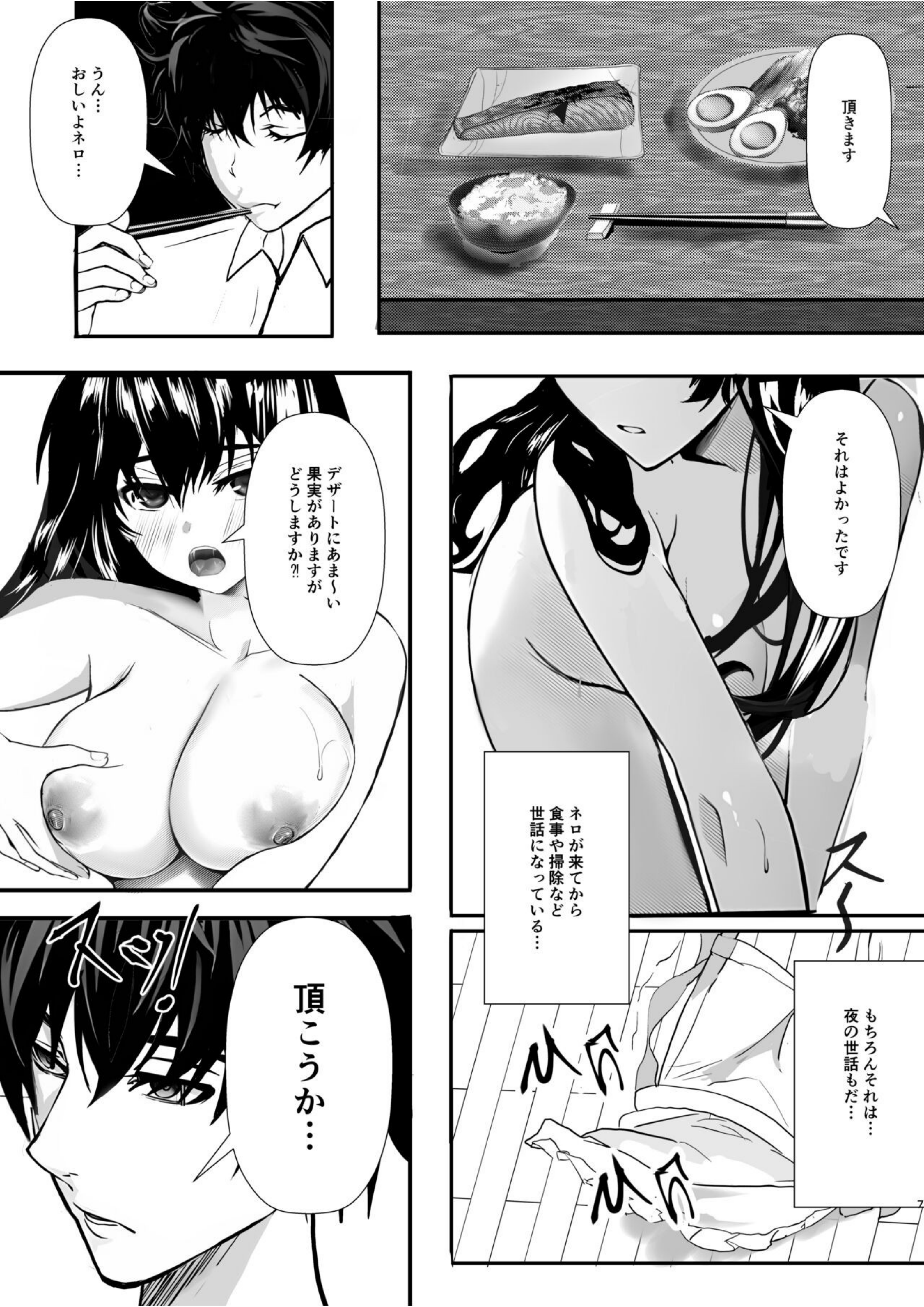
ペットな彼女

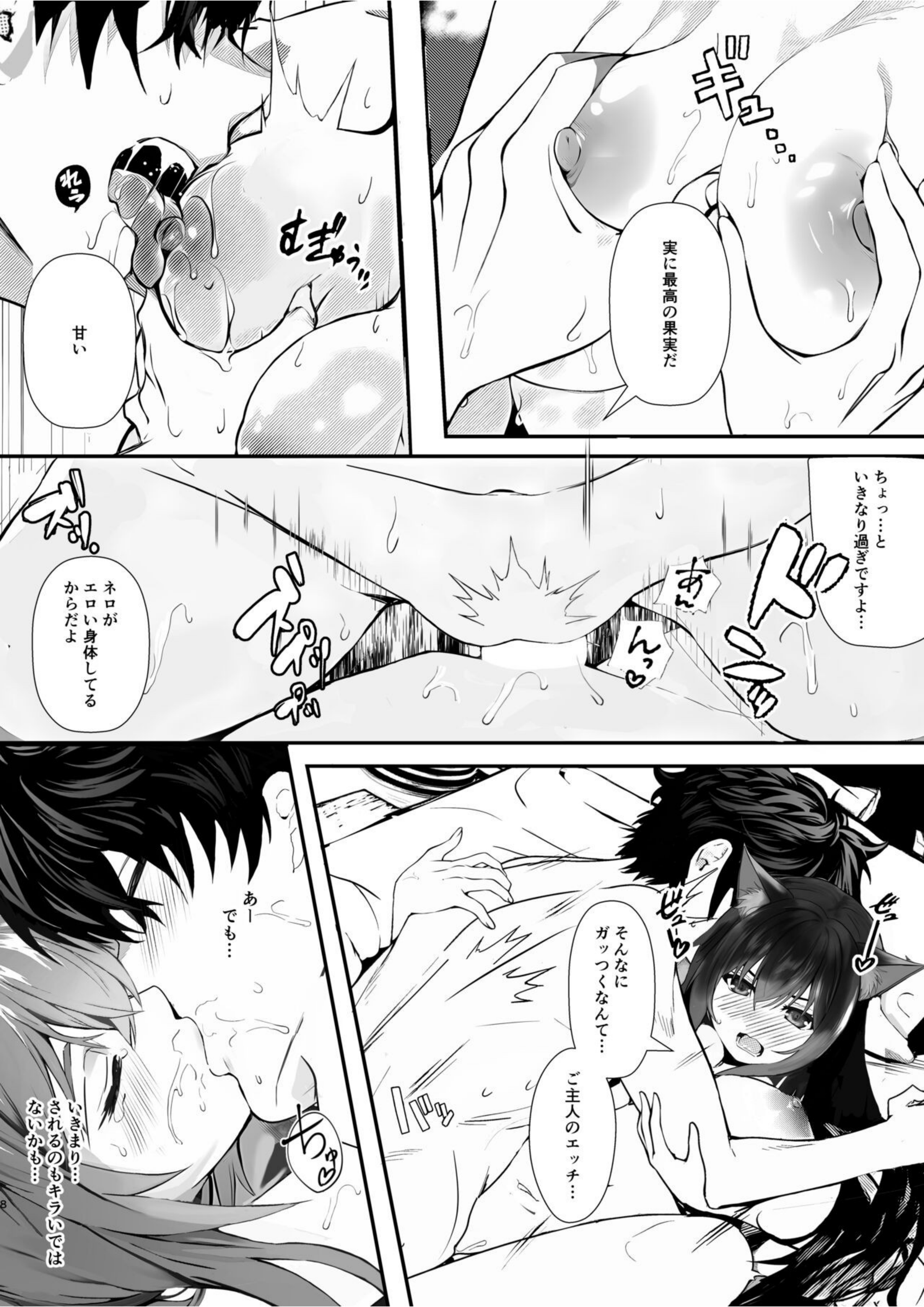

いや
疲れた…
明日も早くから
仕事か…
嫌になるね…
そういえば…
もう一つ問題が
残っていた…
てか…
あの子って
そもそも人間なのか

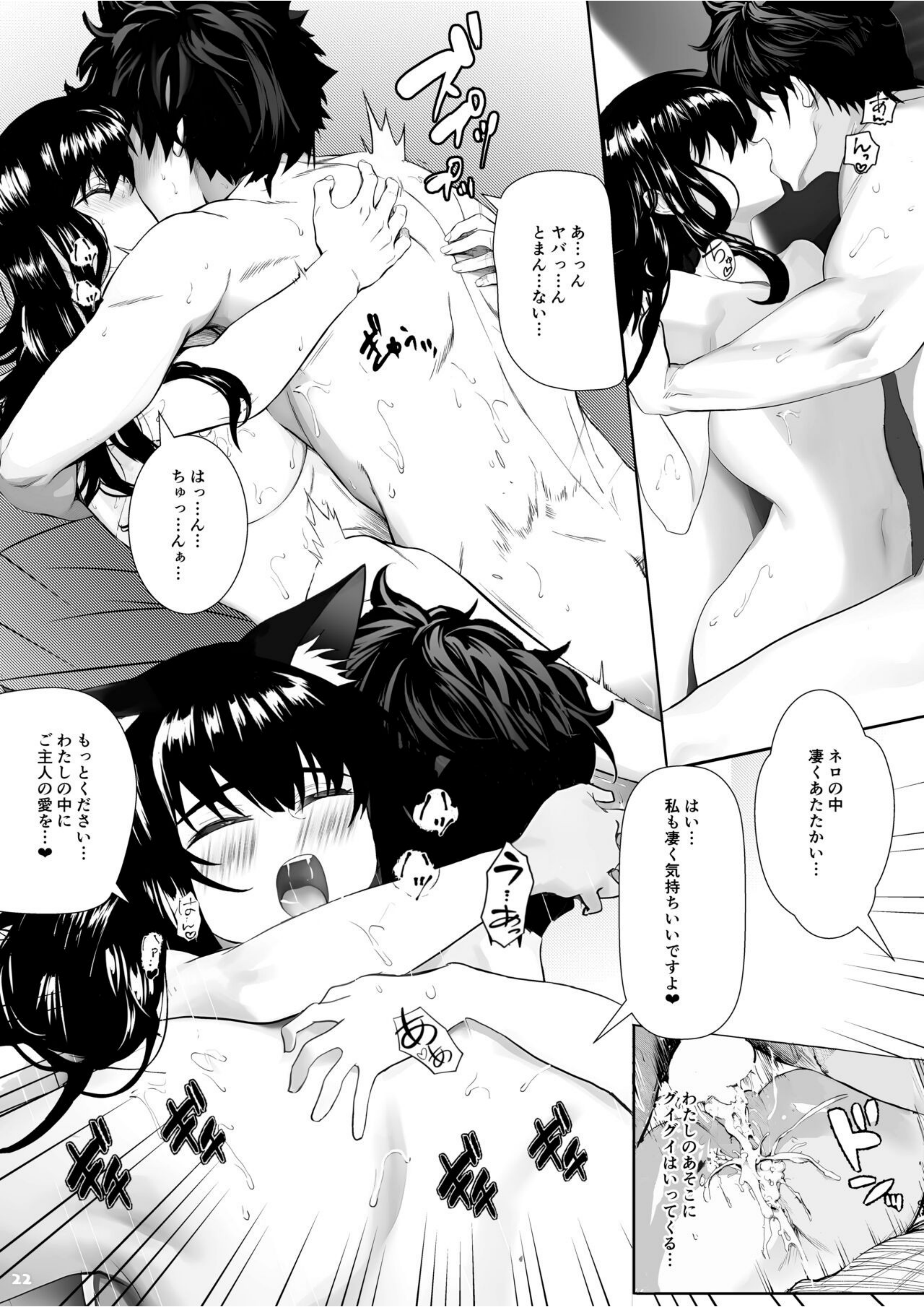

おかえりなさい ご主人⁉
わたし寂しかったん ですからね…
あまりくっつくな 汗臭いだろ⁈
ごはんの用意 できてるよ それと…
えっ⁉
わたしが欲しいもの 分かってくよね⁈

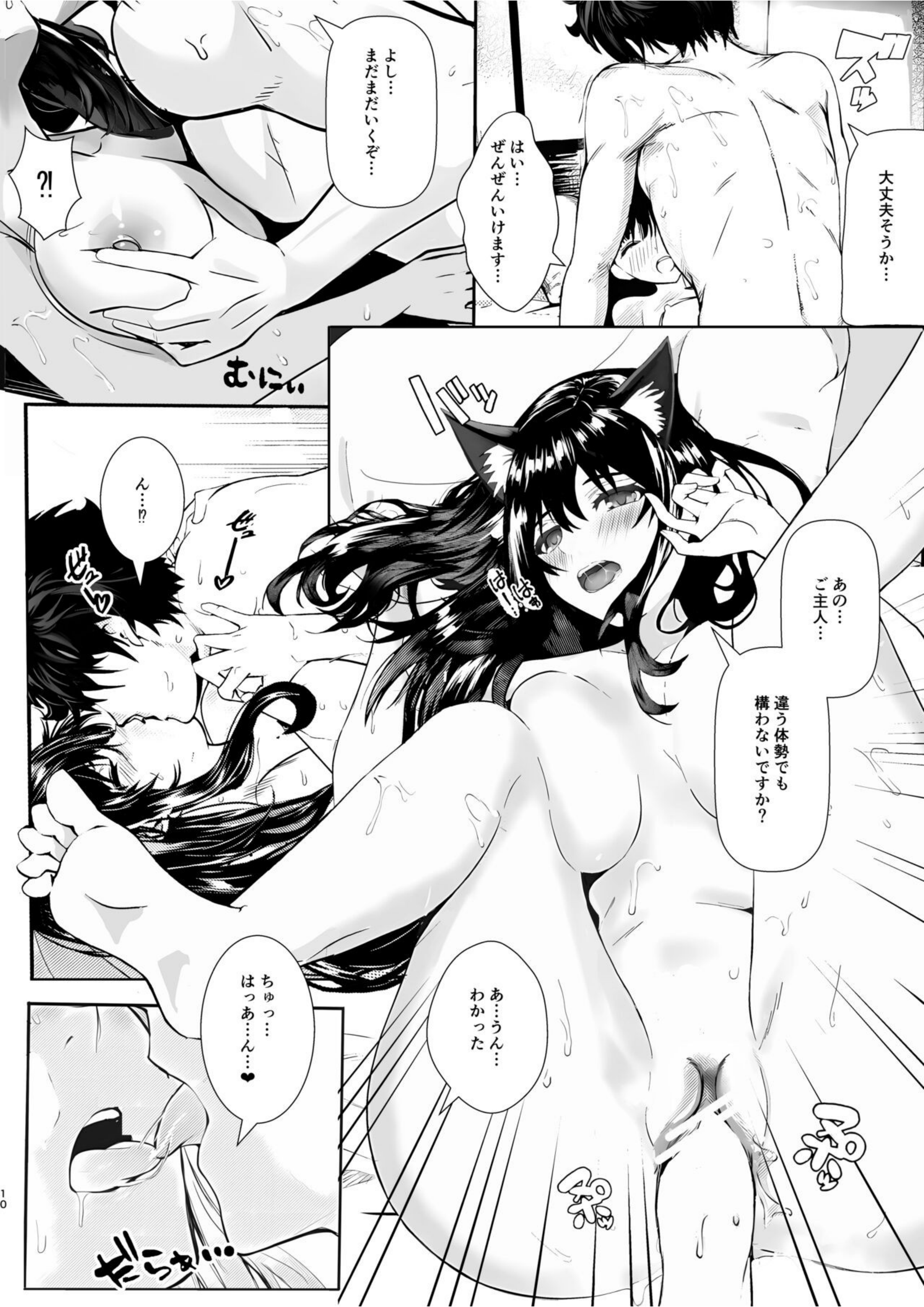

ドクーンッ
一日中
あの夜のことが
忘れられない…
早くちょうだい…
チュー…っる
紛らわし言い方
するな…
ドドン
イてっ…
ガタッ
痛いじゃないですか…
暴力反対
嫌いですご主人なんて…
スマン…
詫びチュールだ…
これでチャラになると
思わいないこと
ですね…
一日の締は
やっぱりこれですよ
何だよそれ…
ちゅる~
Tuna Recipe

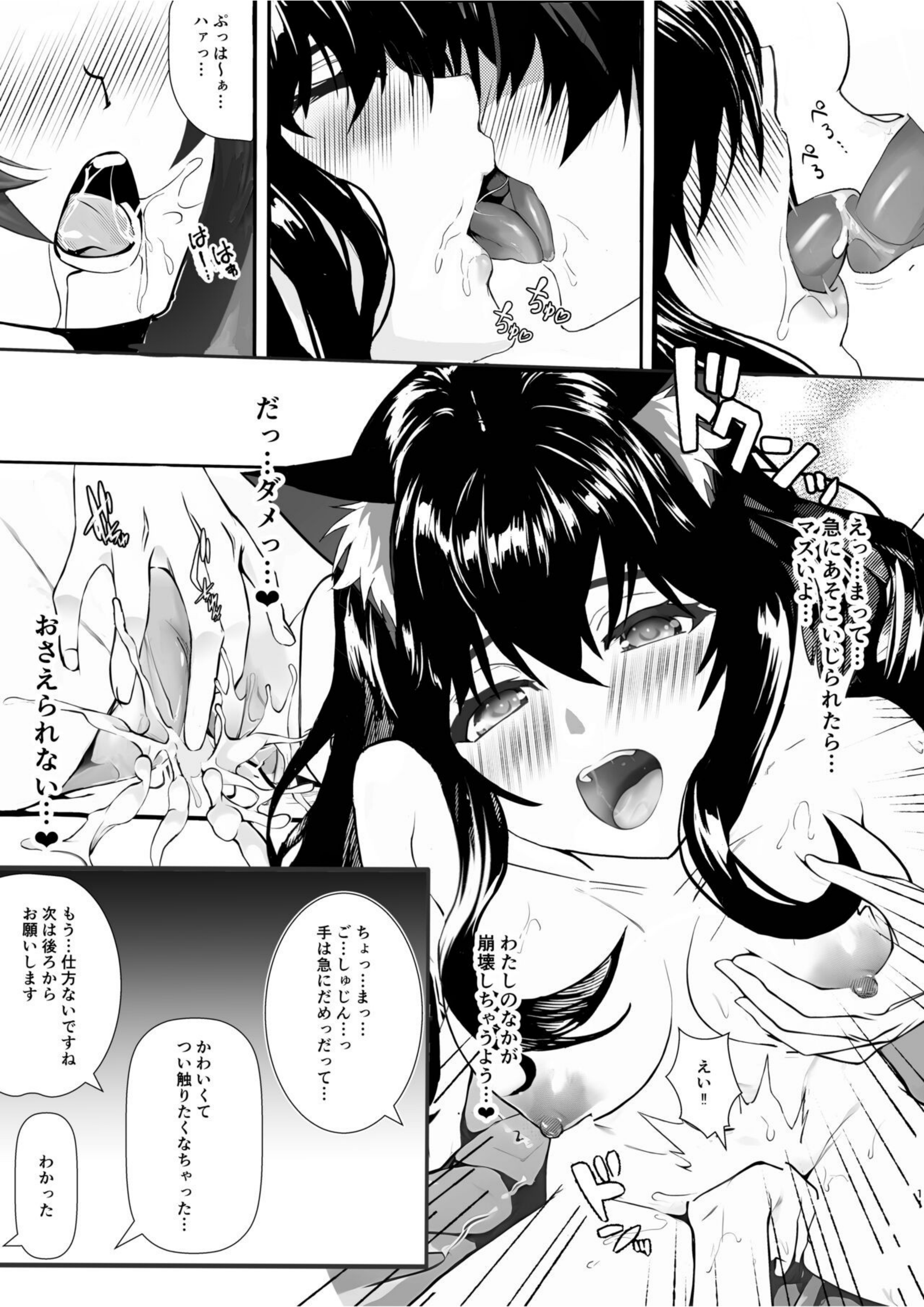

ネロが来てから
数日が立つ
彼女が何ものかわからず…
彼女自身も自分のことを
あまり知らないらしい…
先にご飯食べますよね
ああ…頼む
唯一心当たりが
あるとするなら
数カ月前に偶然と通り
かかった捨て猫におやつ
をやったやつだ…
このアパートは
ペット禁止だった
この猫娘はあの猫
なのかもしれない
ネロ
はい…
急に何です
恥ずかしいですね
そもそも
こいつはペットなのか⁈

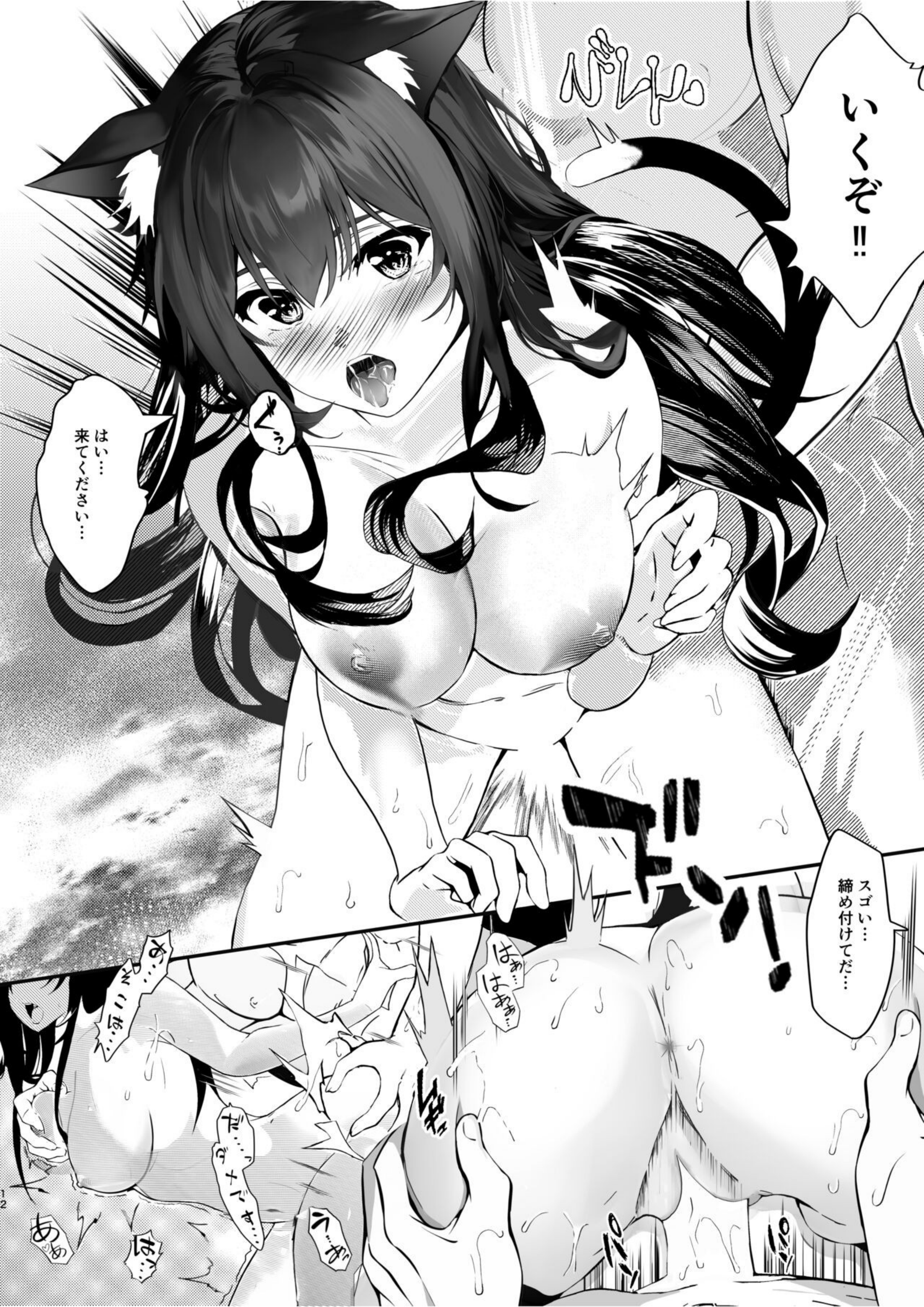

頂きます
うん…おしいよネロ…
それはよかったです
ネロが来てから食事や掃除など世話になっている…
デザートにあま～い果実がありますがどうしますか?!
スー
もちろんそれは…夜の世話もだ…
スッ!
頂こうか…

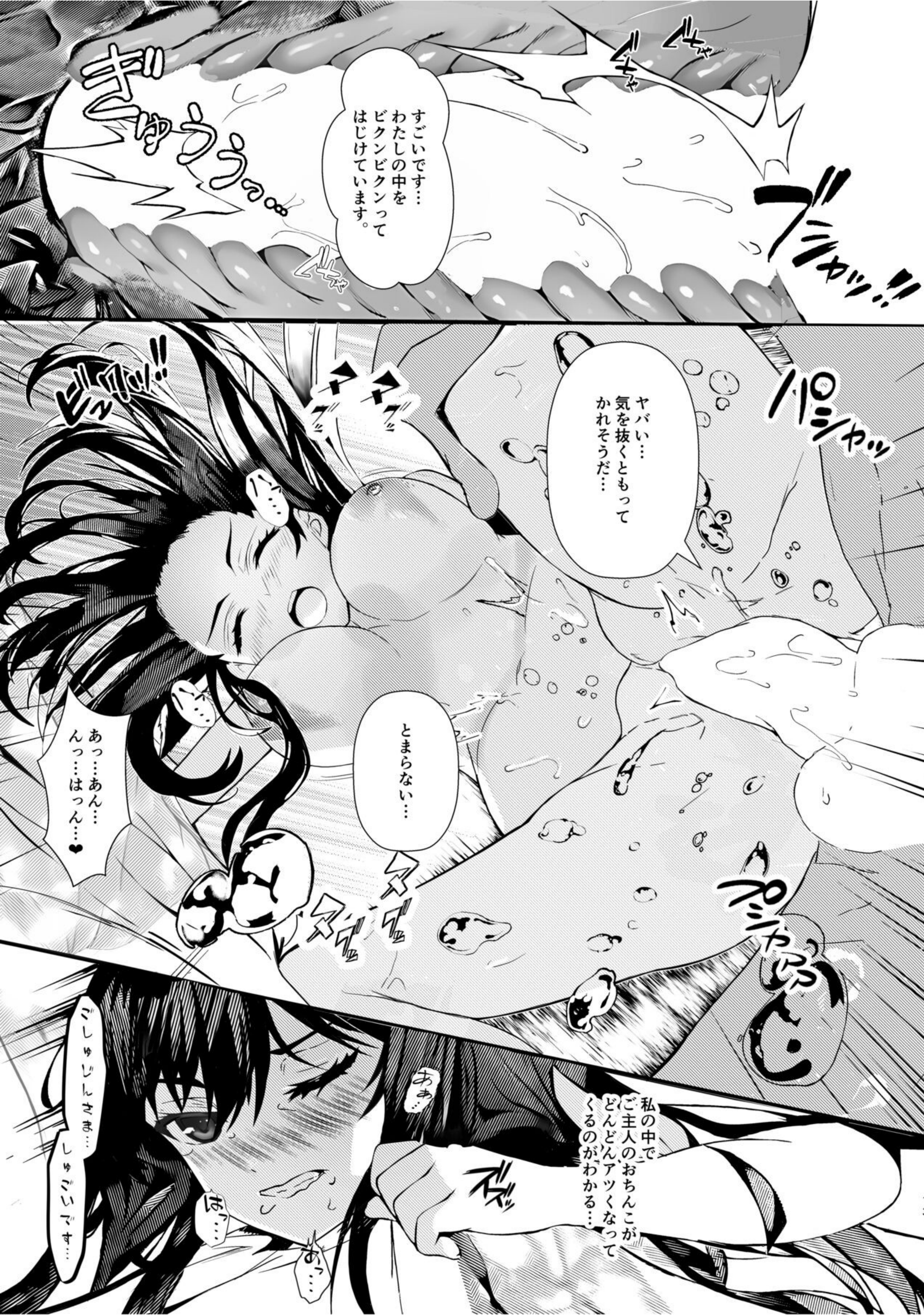

ギュ…
実に最高の果実だ
むぎゅうっ
れろ
甘い
ちょっ…と いきなり過ぎですよ…
ドンッ
あん
んっ♡
ズプッ
ズッ
ネロが エロい身体してる からだよ
ゼュ♡
ゼュー♡
そんなに ガッつくなんて…
ご主人のエッチ…
ドッ
あー でも…
ちゅ♡
いきまり… されるのもキライでは ないかも…

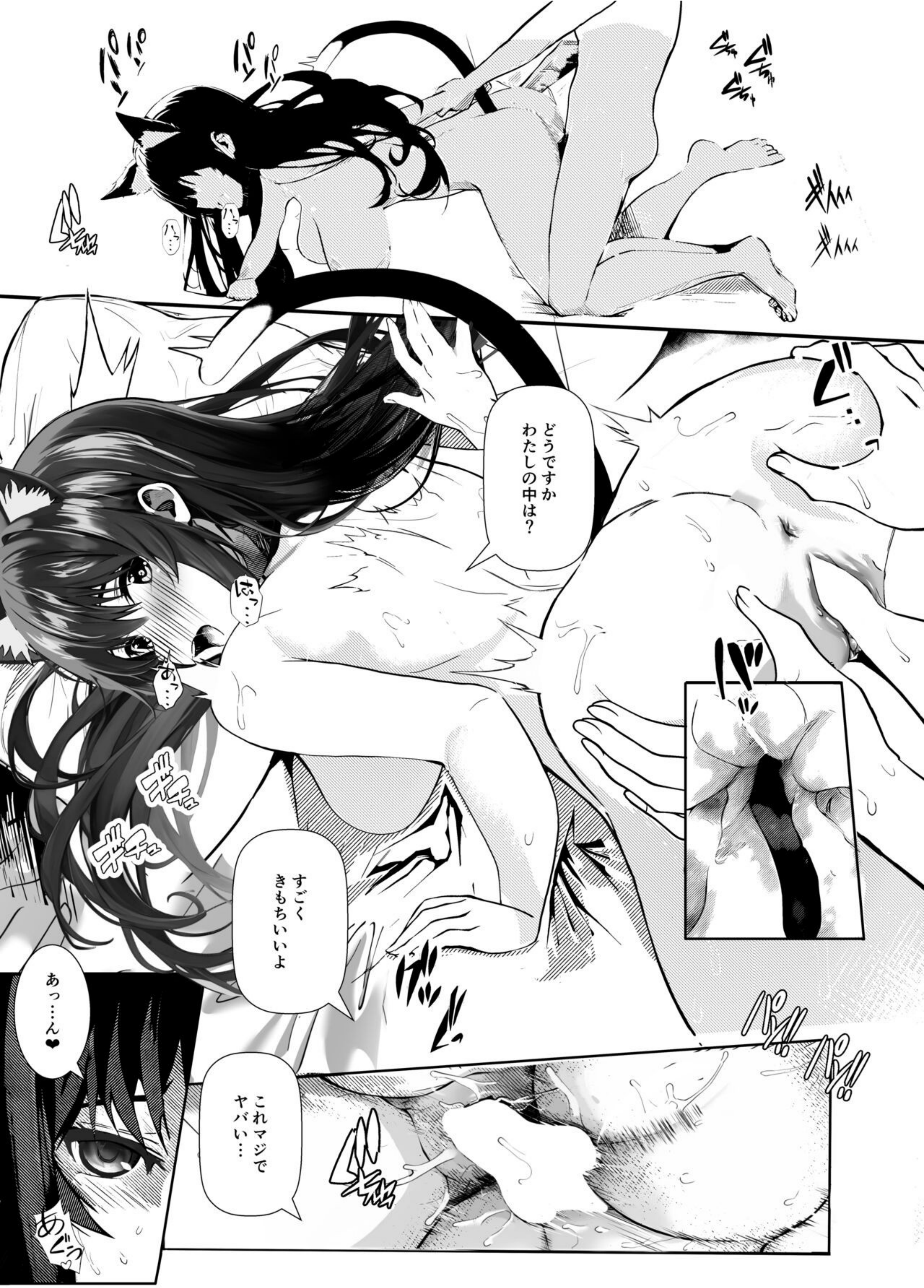

あん…んっ♡
ちゅ
ズプッ ズプッ
あ…っん
ヤバっ…ん
とまん…ない…
ぎゅうぅ
はっ…ん…
ちゅっ…んぁ…
ネロの中
凄くあたたかい…
はい…
私も凄く気持ちいいですよ♡
もっとください…
わたしの中に
ご主人の愛を…♡
う…あっ
はぁん♡
あぁ♡
ギチギチ ギチギチ ギチギチ
ドプッ
わたしのあそこに
グイグイはいってくる…


ズッ
大丈夫そうか…
はい…ぜんぜんいけます…
よし…まだまだいくぞ…
?!
むにぃ
バッ
あの…ご主人…
違う体勢でも構わないですか?
はぁ…はぁ…
ぜぇ
ん…⁉
ぜぇ♥
あ…うん…わかった
ちゅっ…はっあ…ん…❤
ぬぷ
ぬぷ
だらぁ…


ぺろ…ぺろ
ちゅ❤
ちゅ❤
ぷっは～ぁ…ハァっ…
はぁ
は！…
ドクンッッ
えっ…まって…急にあそこいじられたら…マズいよ…
わたしのなかが崩壊しちゃうよう…❤
えい‼
ドドッ
だっ…ダメっ…❤
おさえられない…❤
ちょっ…まっ…ご…しゅじん…っ手は急にだめっだって…
かわいくてつい触りたくなちゃった…
もう…仕方ないですね次は後ろからお願いします
わかった

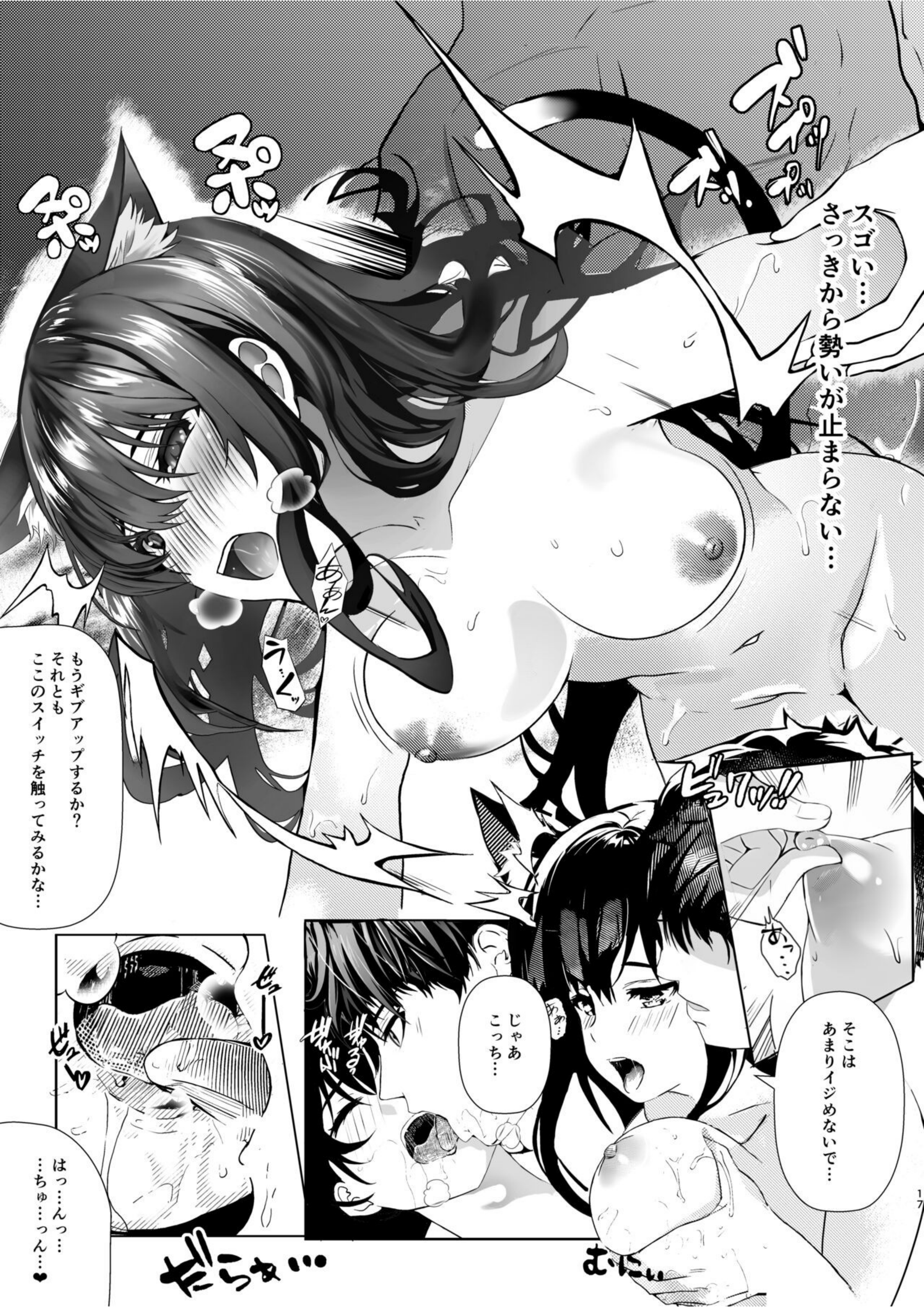

ぶるん♡
いくぞ!!
ぐぅ…
はい…
来てください…
ズドン!
スゴい…
締め付けてだ…
はぁ…
はあぁ…
あ…そこは…
だ…っダメです…
う…ぁ
パンパン
は…っ
あ♡ぁ

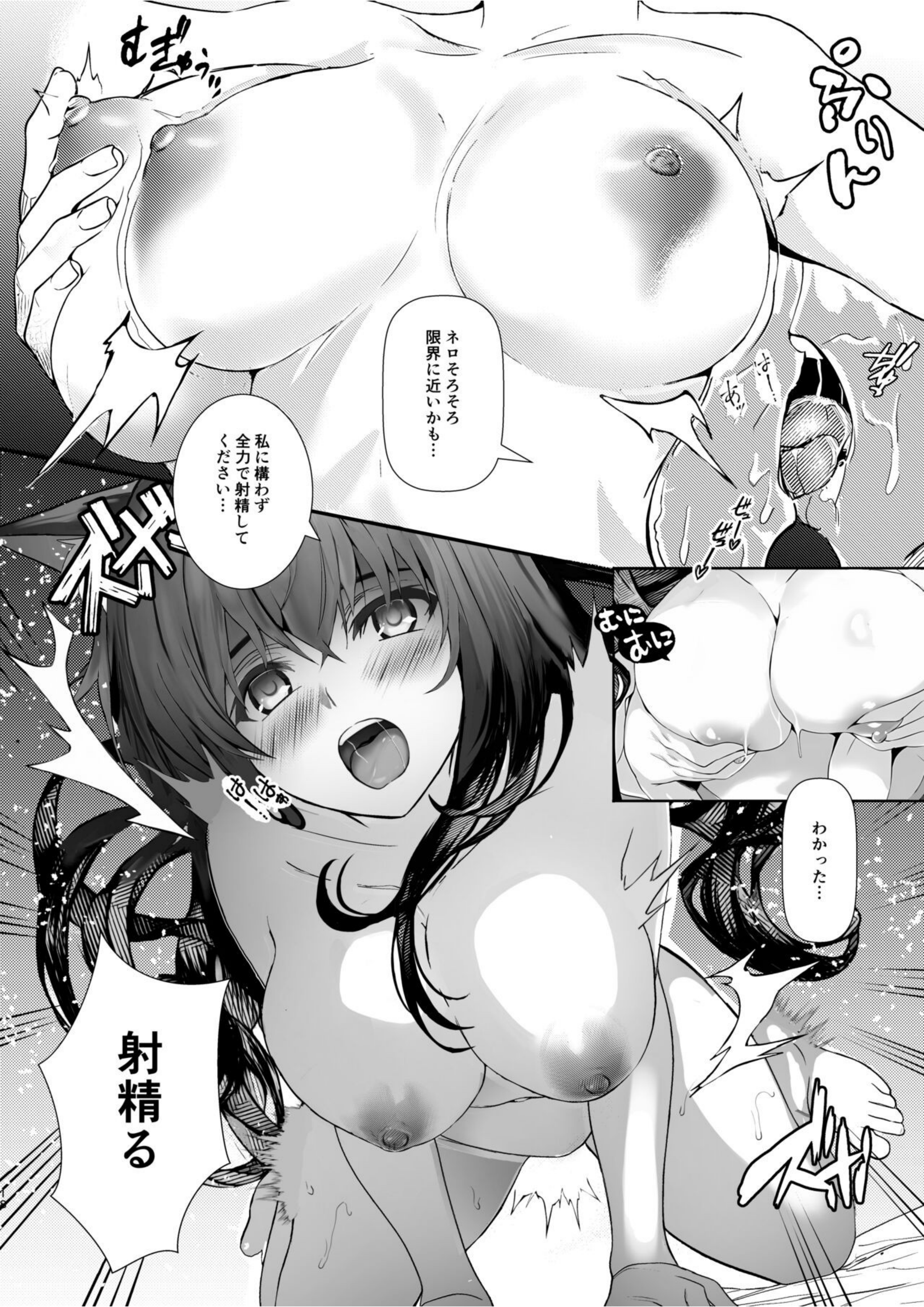

ぐちゃ
ぐちゃ
ブシャッ!!
すごいです…
わたしの中を
ビクンビクンって
はじけていきます。
ぎゅううっ…
ぐちゃ
パシャッ
ヤバい…
気を抜くともって
かれそうだ…
ビクンッ!!
とまらない…
あっ…あん…
んっ…はっん…❤
プシャァァッ
私の中で
ご主人のおちんこが
どんどんアツくなって
くるのがわかる…
ああ…
ごしゅじんさま…
しゅごいです…
はっ…
あっ…
ズッ

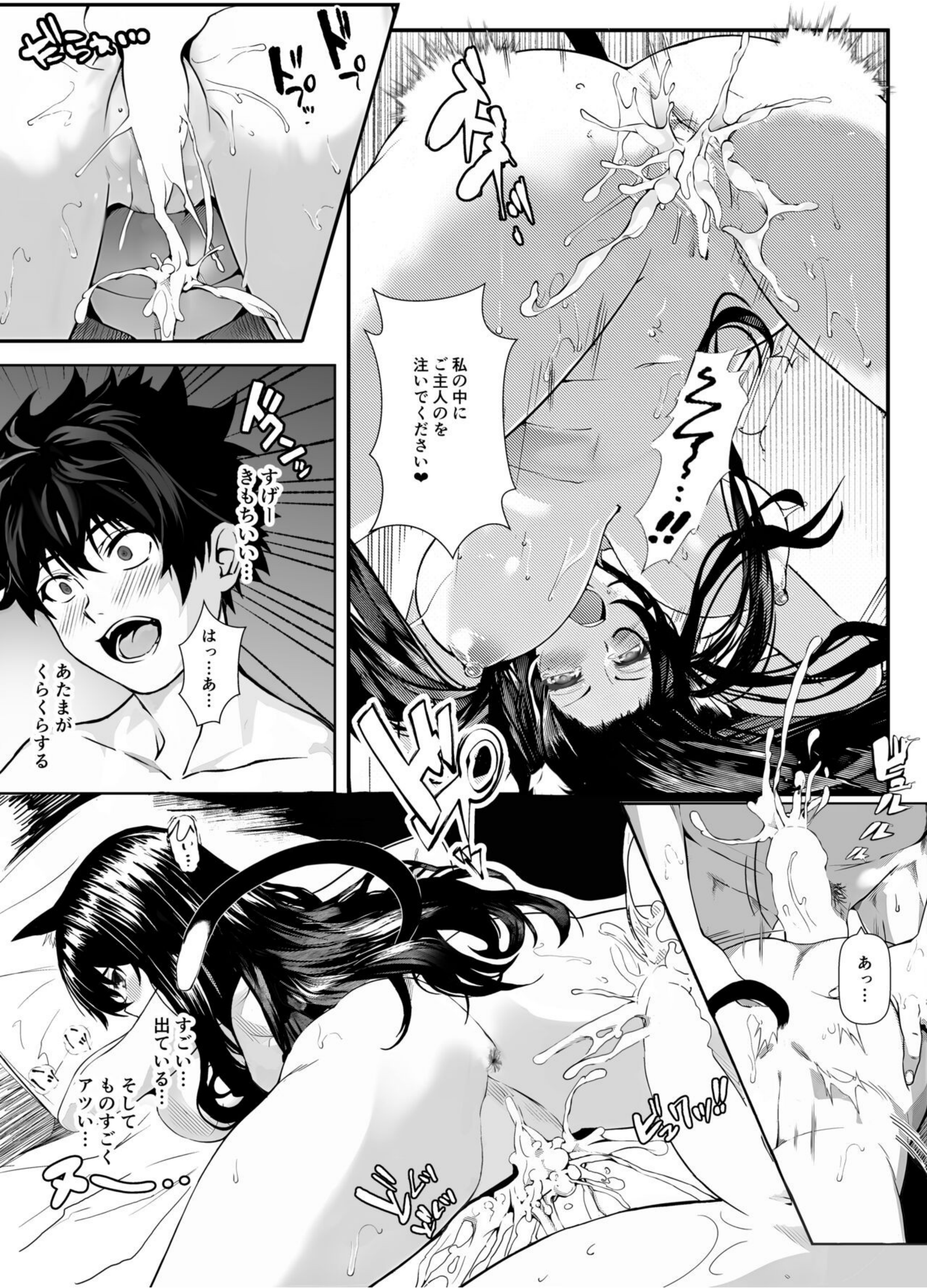

ぐちゅ
ぐちゅ
ぐちゅ
パンパン
パンパン
ギシシシ
ギシシシ
はっ…
はっ…
どうですか
わたしの中は？
はっ…
あっ…
ギチュ
ギチュ
すごく
きもちいいよ
パン!!
パン!!
これマジで
ヤバい…
あっ…ん❤
あぐっ❤

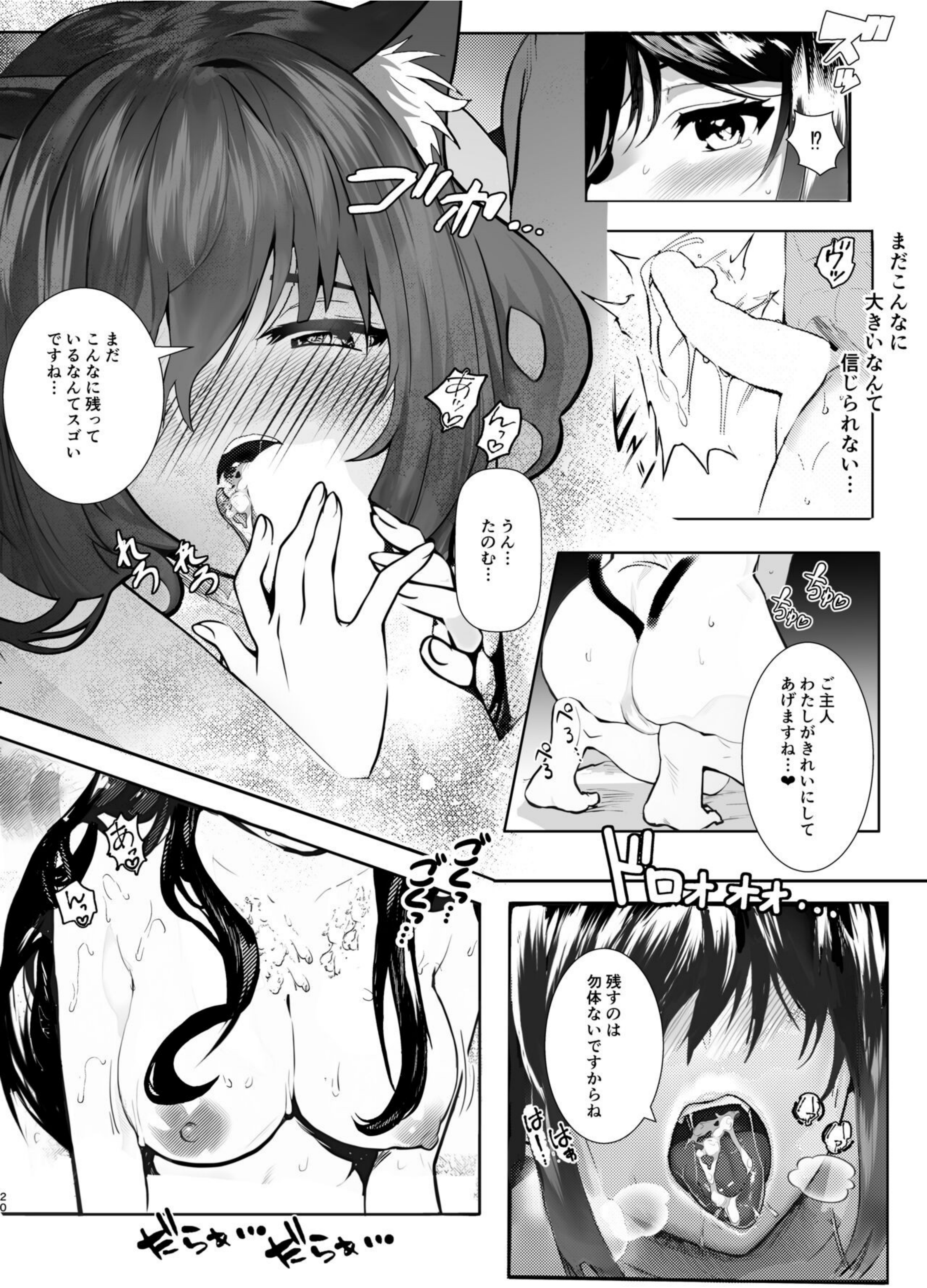
ズブッ!!
ドッ!!
ビクー
ハッ…
はっ…
にゃん♡
あっ…
ガガガガ
ぞく
ハッ…
ハッ…
あっ…
はっ…
あは♡

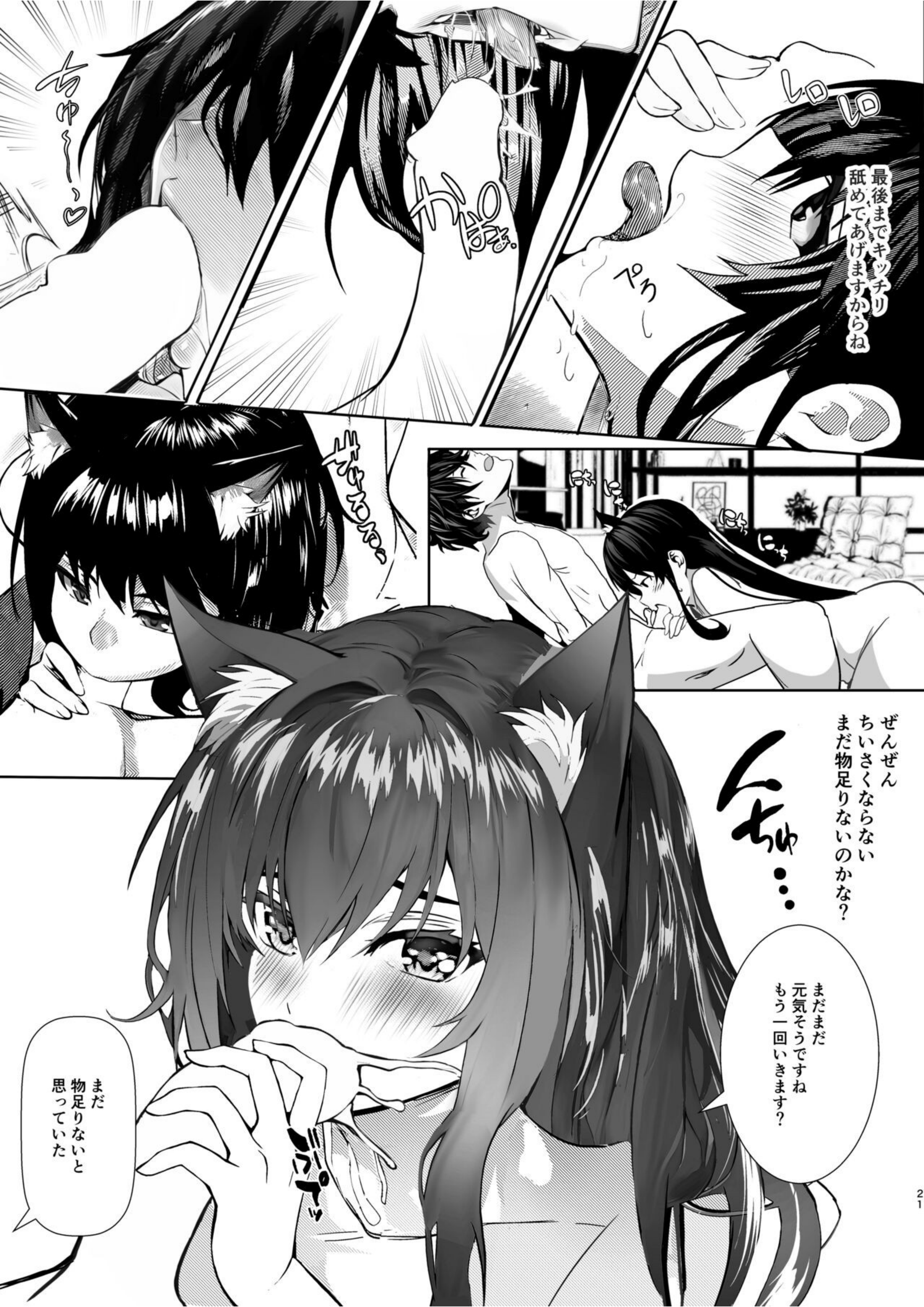
はあんっ
ご主人
きもちいいですか?
ドプッ
ああ…
最高だよ…
はぁ はぁ
ぱん ぱん ぱんぱん
ずちゅ ずちゅ
ガマンしないで
思いっきり腰を
振ってください…
ああ…
ぱんっ ぱんっ
びゅるるっ
私の中にびゅっびゅっ
してかまいませんからね

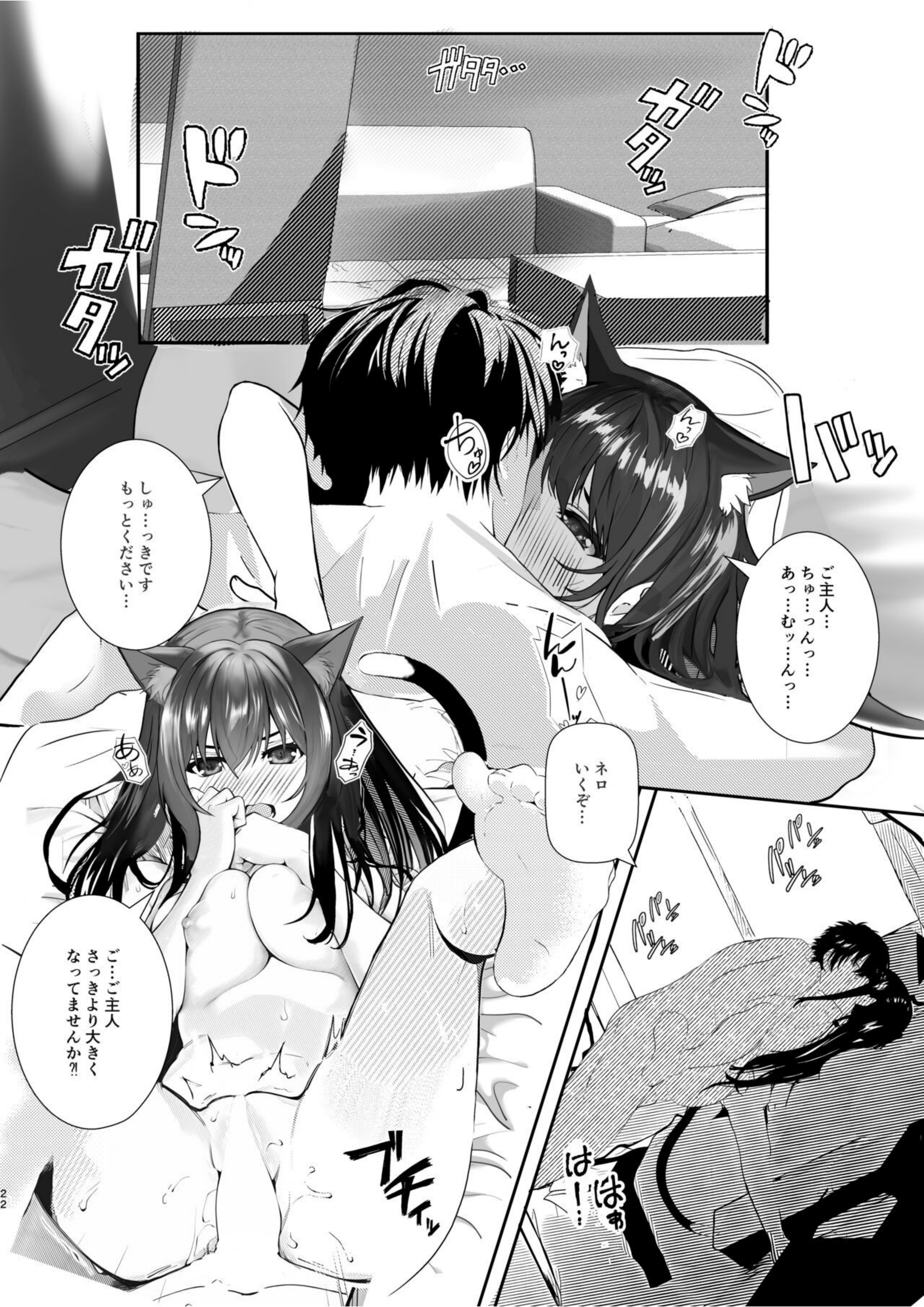

ズプッ
ズプッ!!
スゴい…さっきから勢いが止まらない…
ヌポッ
ヌポッ
あぁん
う…くッ
もうギブアップするか?
それとも
ここのスイッチを触ってみるかな…
ビュクッ!!
あっ…
そこは
あまりイジめないで…
あぁ…
じゃあ
こっち…
ぢゅるっ
ぢゅぷ
ぜっ♥
ぜっ♥
はっ…んっ…
…ちゅ…っん…♥
だらぁ…
むにぃ

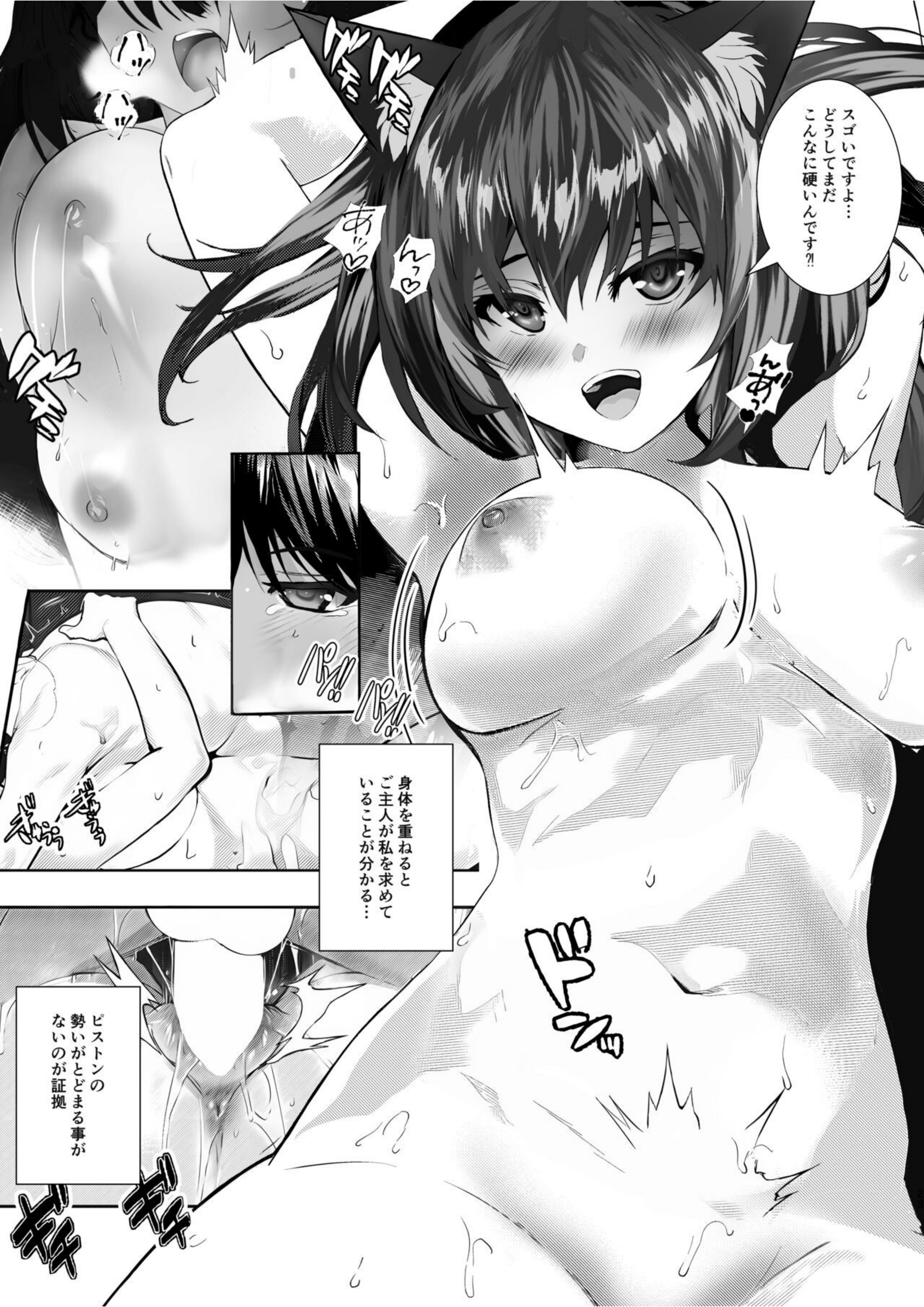

ぷりん
むぎゅう…!!
ネロそろそろ限界に近いかも…
私に構わず全力で射精してください…
はー…
あ゛…
ぜぇー♡
ぜぇ♡
むにむに
はーはぁ
わかった…
射精る

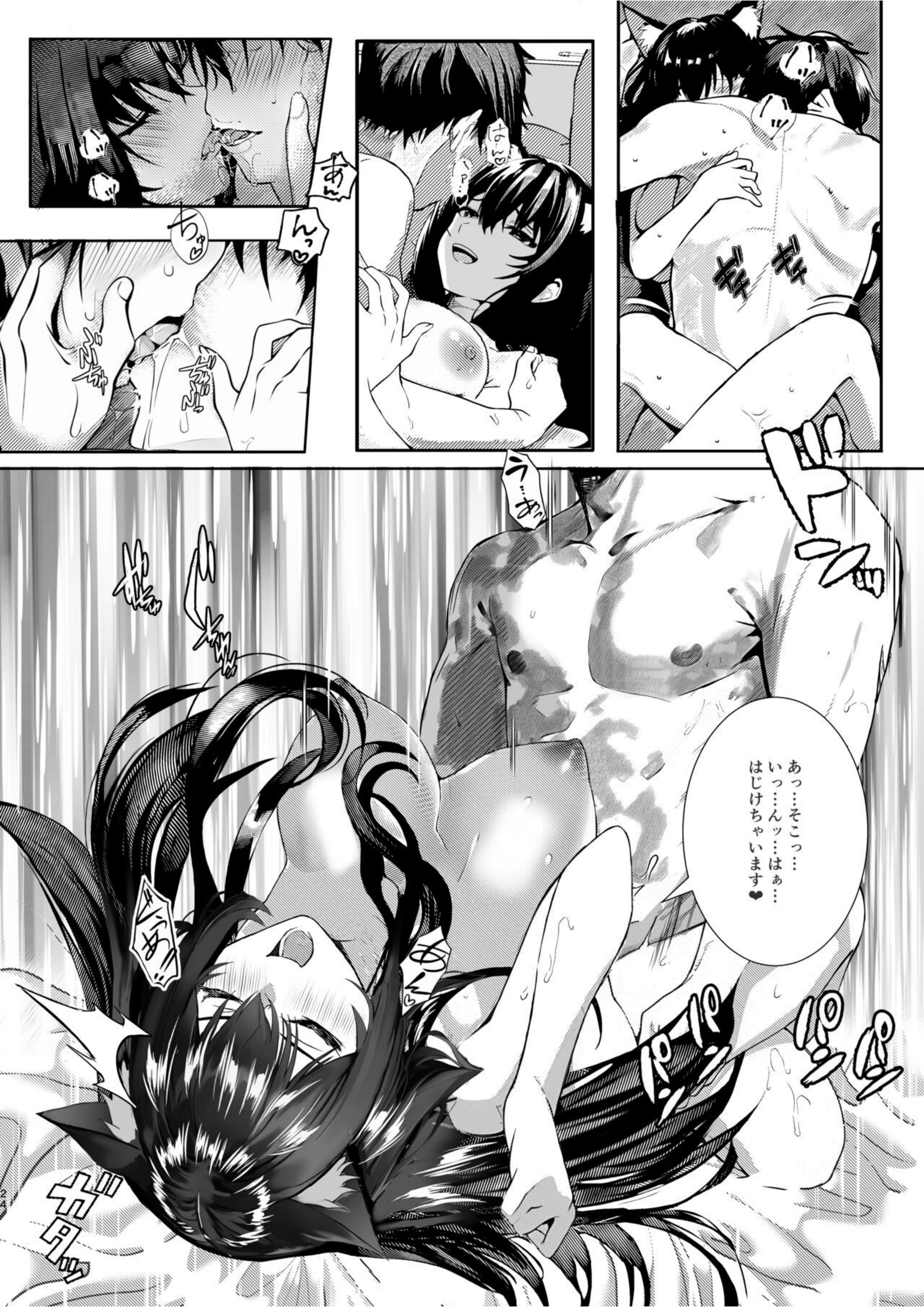

ドプッ
ドプッ…
だらぁ…
ズチュ…!
私の中に
ご主人のを
注いでください❤
ぶぴ〜〜…!!
ドクンッ
すげー
きもちいい…
はっ…あ…
あたまがくらくらする
ドプッ
ビュルル
あっ…
ひ…
ビュワッ!!
すごい…
出ている…
そして
ものすごく
アツい…
ンッ
ンッ
ヌ〜…
ビュルルル

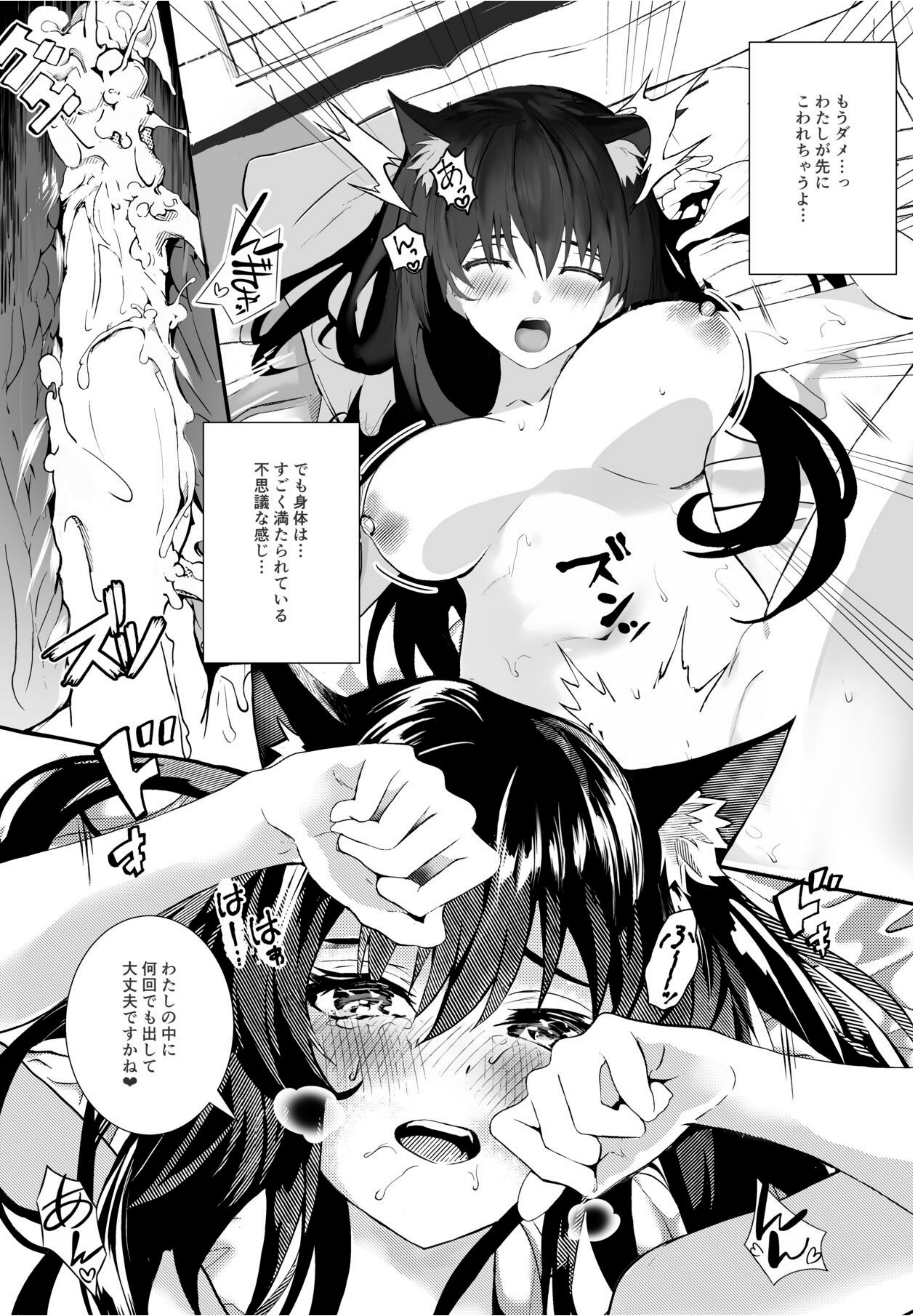

ズブッ
!?
ゴポォ…
ヴッ
まだこんなに大きいなんて信じられない…
まだこんなにのこっているなんてスゴいですね…
あっ♡
んっ♡
うん…たのむ…
れろれろ
ちゅ♡
ちゅ♡
ご主人わたしがきれいにしてあげますね…❤
ぺろ…ぺろ
ドロォォォ…
残すのは勿体ないですからね
はぁ
はっ…
はぁ
ごくっごくっ…
あっ♡
んっ♡
だらぁ…だらぁ…


レロレロ
最後までキッチリ舐めてあげますからね
ぺろ
かぽぉ。
ちゅ〜〜♡
にちっ
にちっ
にちっ
にっち
ぢゅーるるっ
ぜんぜん
ちいさくならない
まだ物足りないのかな？
んちゅ…
まだまだ
元気そうですね
もう一回いきます？
ジュプッ
まだ
物足りないと
思っていた


ドンッ
ガタッ
ガタタ…
ドンッ
ガタッ
ん♡
ちゅ♡
ん♡
バッ
ご主人…
ちゅ…っんっ…
あっ…むッ…んっ…
しゅ…っきです
もっとください…
んんーーッ♡
ネロ
いくぞ…
う…あっ
あ♡あ
パンッ
パンッ
パンッ
パンッ
ご…ご主人
さっきより大きく
なってませんか?!
ブチィッ
はーはぁ…!


スゴいですよ…
どうしてまだ
こんなに硬いんです?!
んっ♥
あっ♥
んあっ♥
パンッ!!
パンッ!!
身体を重ねると
ご主人が私を求めて
いることが分かる…
ピストンの
勢いがとどまる事が
ないのが証拠
ドチュッ
ギチギチ

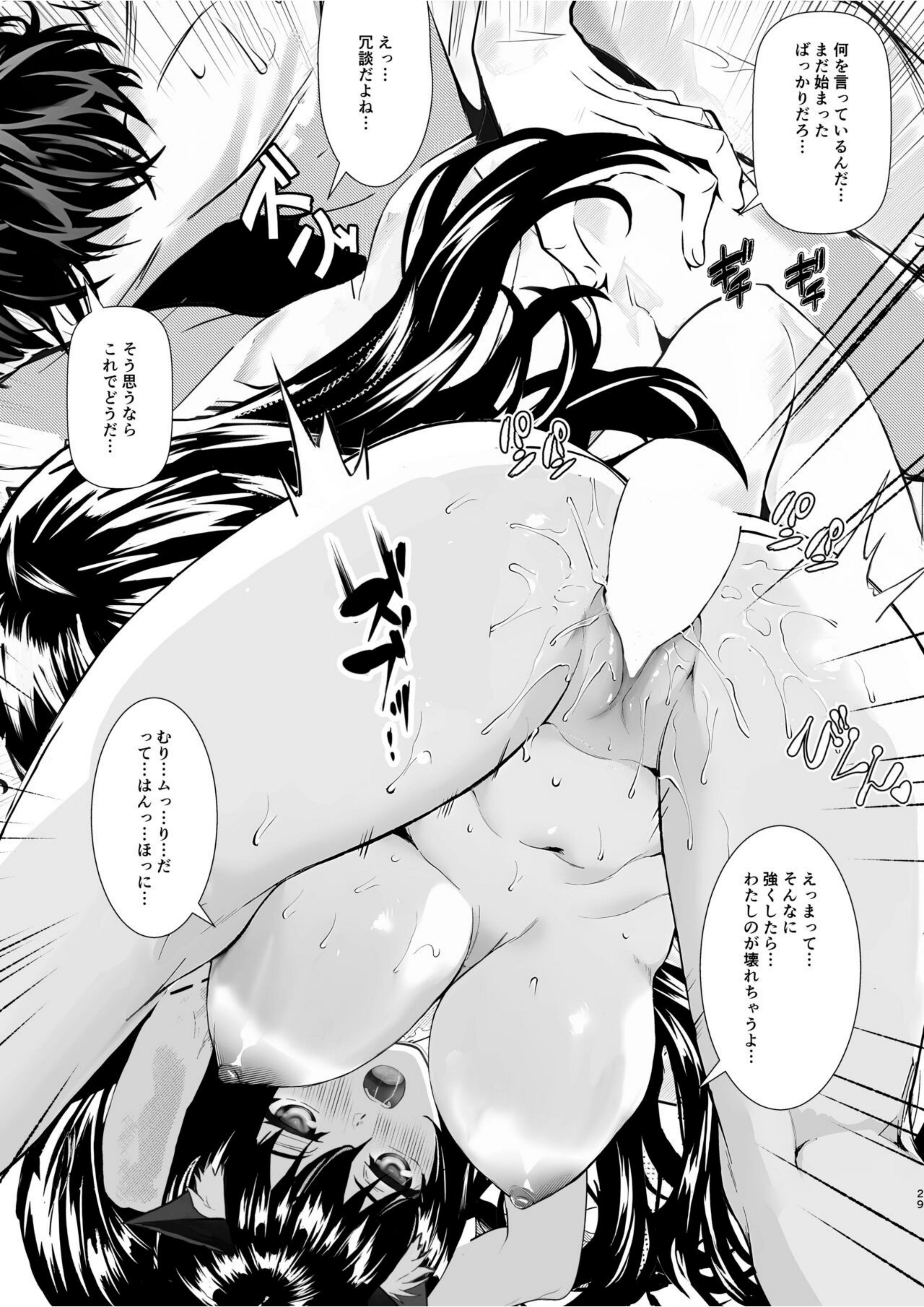

ギチ ギチ
はぁん♥
ァ…♥
あん
んっ♥
ちゅ♥
ドンッ
う…あっ
あっ…そこっ…
いっ…んッ…はぁ…
はじけちゃいます❤
パンパン
パンパン
あん♥
ぎぅあ!?
ガタッ


もうダメ…っ
わたしが先に
こわれちゃうよ…
あっ♡
んっ♡
んぎぃっ♡
ガクガク
でも身体は…
すごく満たされている
不思議な感じ…
ズンッ
ズル
ドロォ
ドキ
ふーっ
はぁ
はー…
わたしの中に
何回でも出して
大丈夫ですかね❤
んん♡
あん♡

パツ!! パツ!!
ドッ
ガタッ
ネロまだまだ
いくぞ…
ッ ッ
ズパン!!
!?
ギチ ギチ
えっまだ早くなるの…
ご…しゅじん…
んっ～…!!
はぁ はぁ
どれだけの
体力があるんですかぁ…
ぎゅううっ
ギチ ギチ
んっ～!!
…あっ…はぁん…
だめっ…ダ…っめ…
んあッ
あめ
パァン

ドキ どくん!!
はー…はぁ
ハッ ハッ
ムギュ
んあっ❤
あんっ❤
すげー
きもちいいよ
ズザァ!!
ドチュッ
それなら…
よかったです❤
あんっ❤
う…あっ
あっ❤
んっ❤
いやっ❤

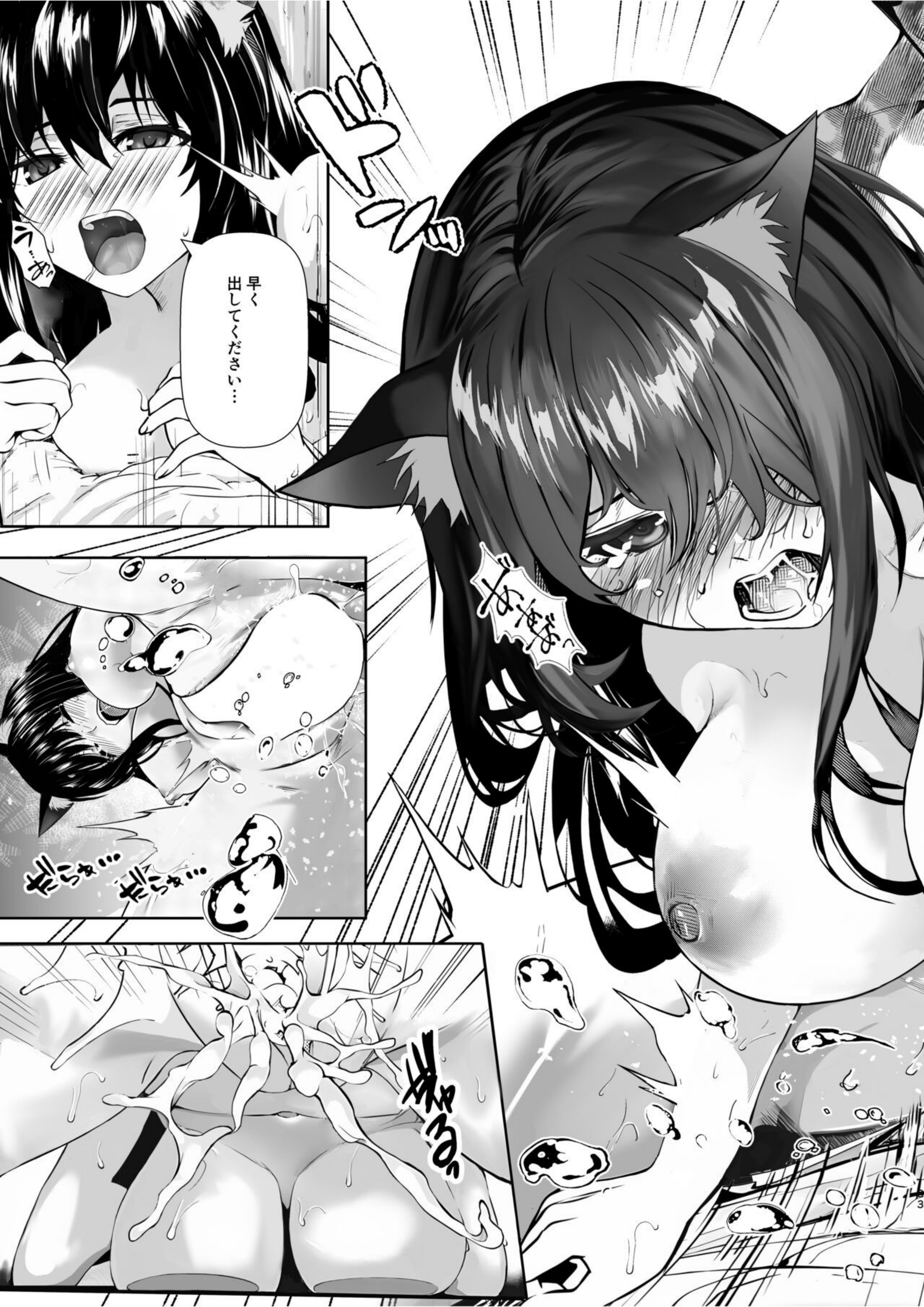
むっ…ちゅっ…
んっ…あッはん
ぐちゅ
ぢゅ
ギュ
ちゅ ちゅ
どのくらい時間が経ったのだろう
あん
んっ♡
ハァ ハァ
ハァ ハァ
ネロ
ハッ ハッ
バン
ご主人もう限界だよわたし…
ぱ
ァ♡
はぁ…ん♡
ひゃあっ♡
ぱん
ぱん
ぱん
ぱん


何を言っているんだ…
まだ始まった
ばっかりだろ…
えっ…
冗談だよね…
ギチ ギチ
ズン
そう思うなら
これでどうだ…
ぱんぱん
ぱんぱん
ズズッ!!
びくん♡
えっまって…
そんなに
強くしたら…
わたしのが壊れちゃうよ…
むり…ムっ…り…だ
って…はんっ…ほっに…

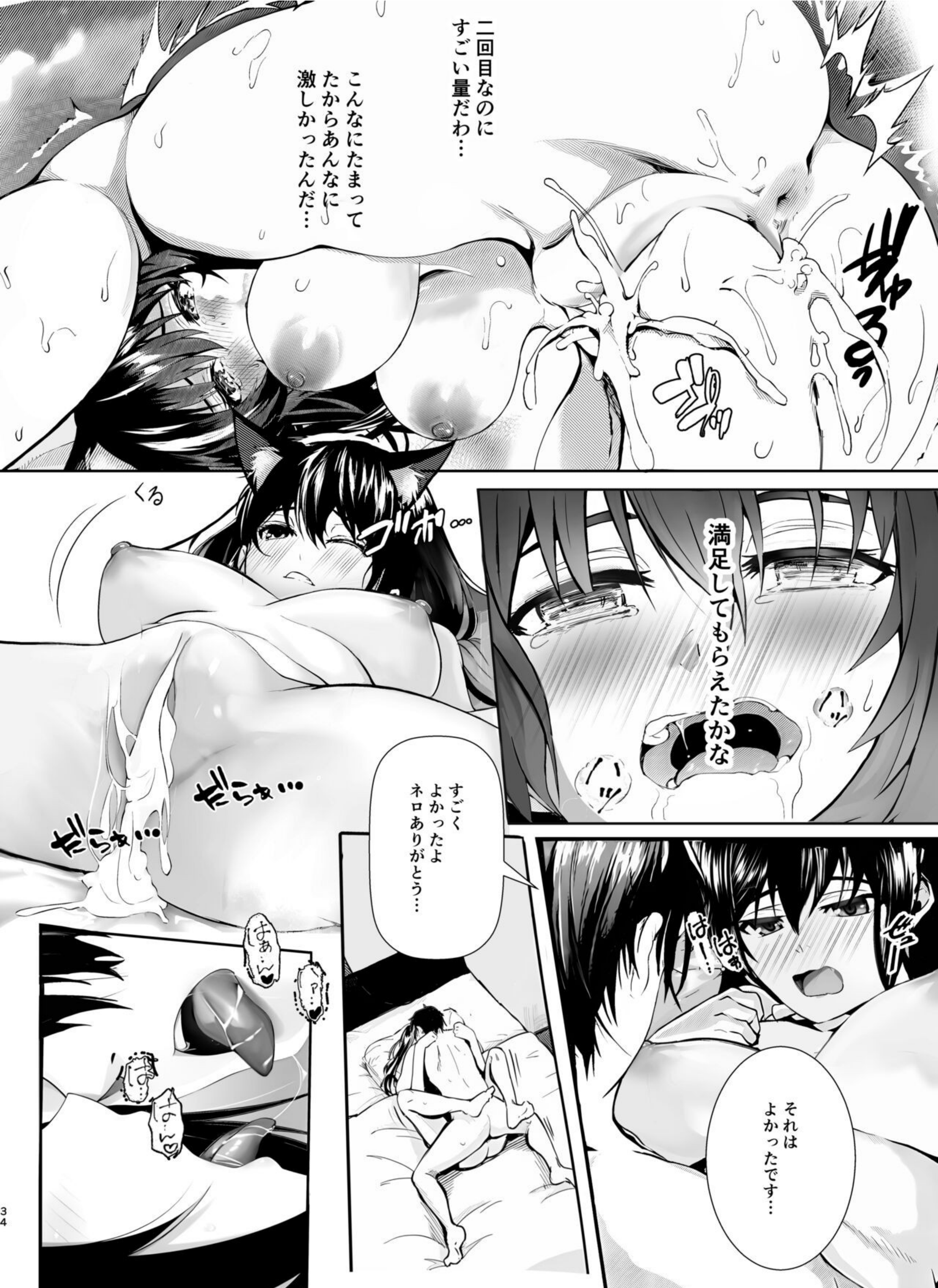
ズブゥ
あっ…
はっあん…
ドプゥ
う…あ
もう許してよ…
ご主人…
ぱんぱん
ぱんぱん
あんっ
んっ♡
びくんっ♡
んっ〜〜っ!!
あんっ♥
もうこんなに
溢れているのに…
まだ付き合って
もらうぞ…
ぐちゅるっ

むにぃ
ここを触れば元気がでるんだろ…
ギチ ギチ
ぜぇー
そこは…だめっ…❤
ズプッ!!
ドプンッ
パンッ
これでどうだ⁉
ビュクッ!!
ハァ…
ハァ…
はっにぁあ〜

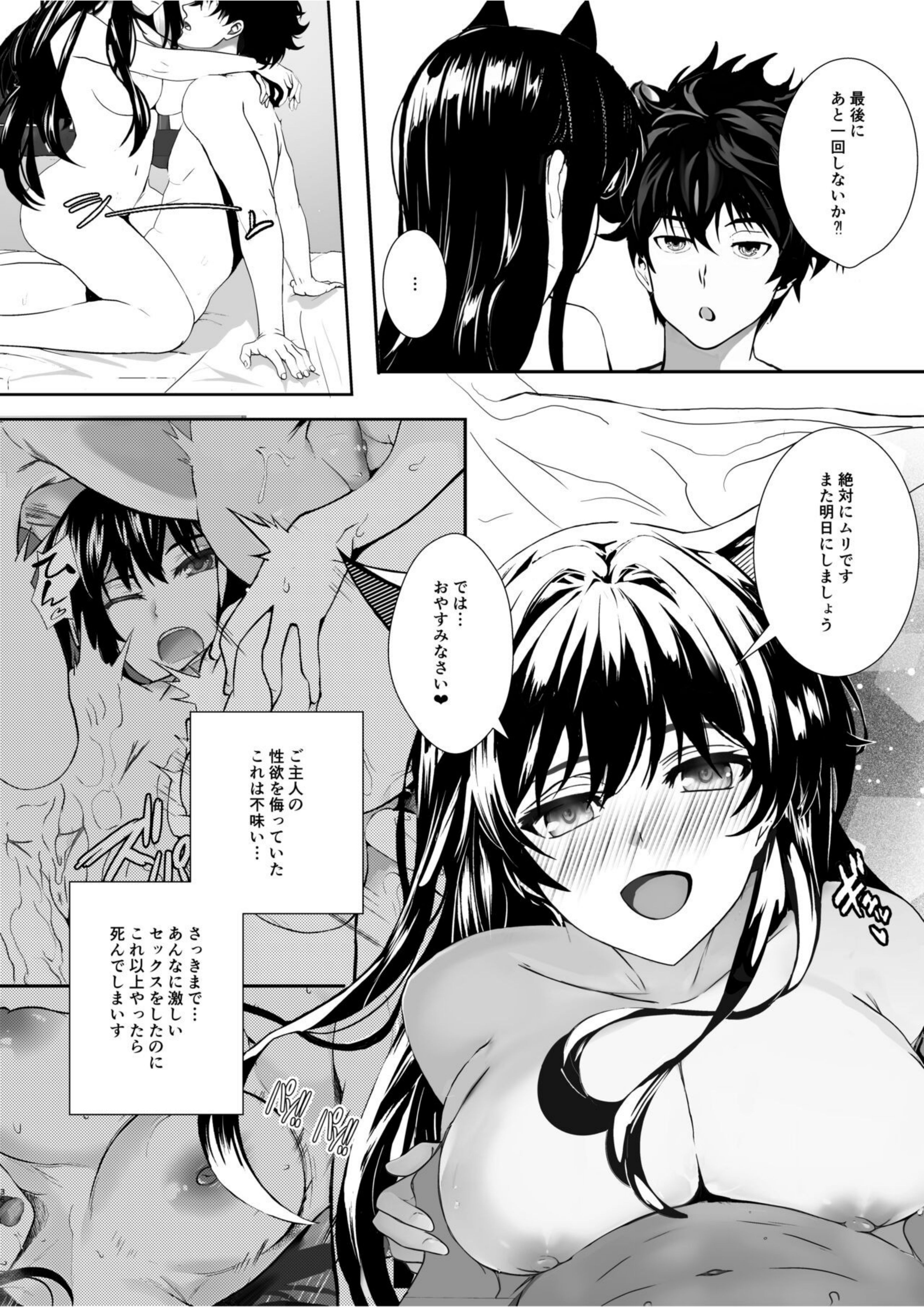
ズブッ!!
ドンッ
パンッ
ズザァ!!
ヤバい…もう射精る
ドプッ
ドプッ
ドぷっ…

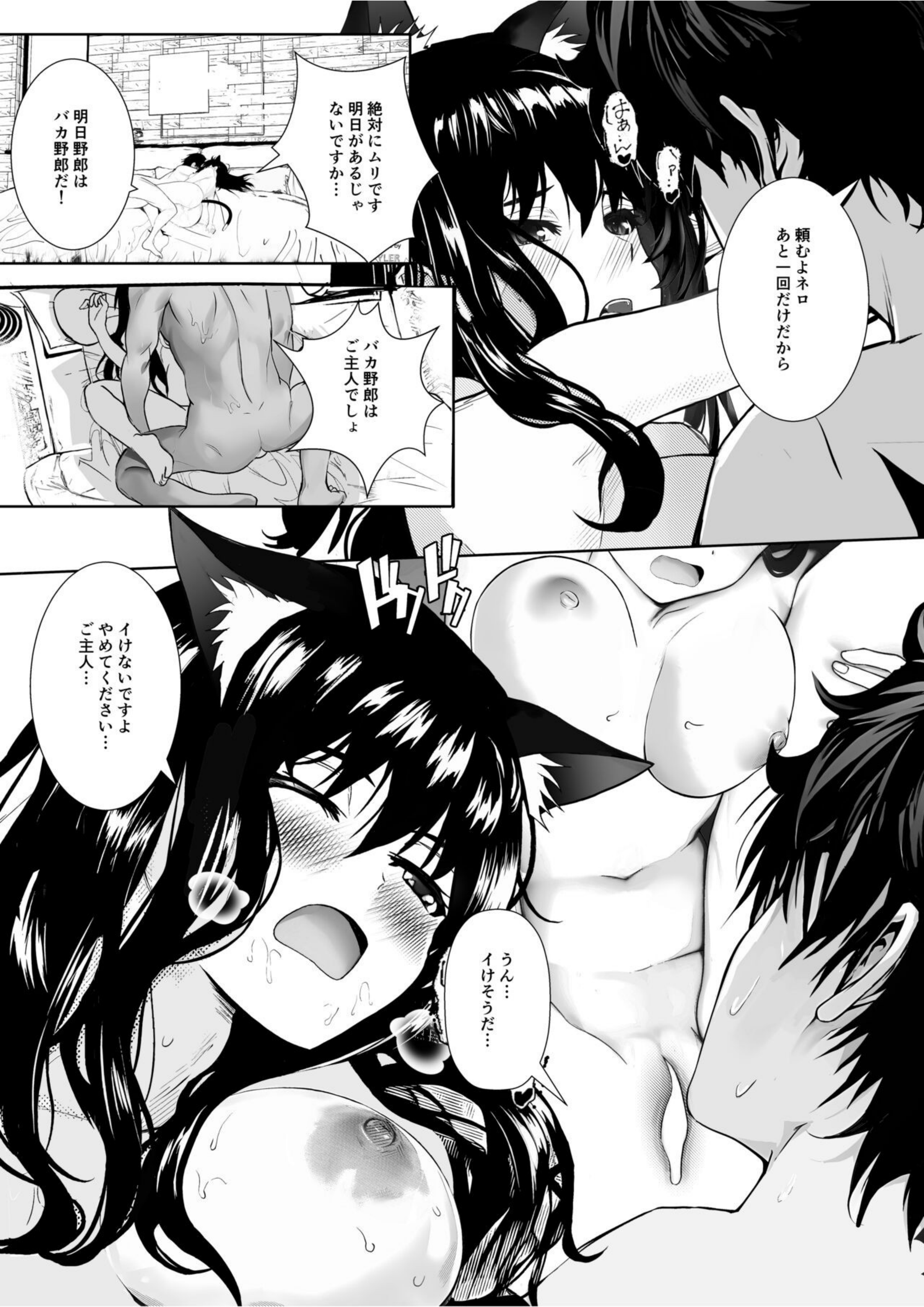

早く出してください…
う…あっ
ドーーッ
お゛ぉお゛っ
だらぁ…だらぁ…
びゅるっ

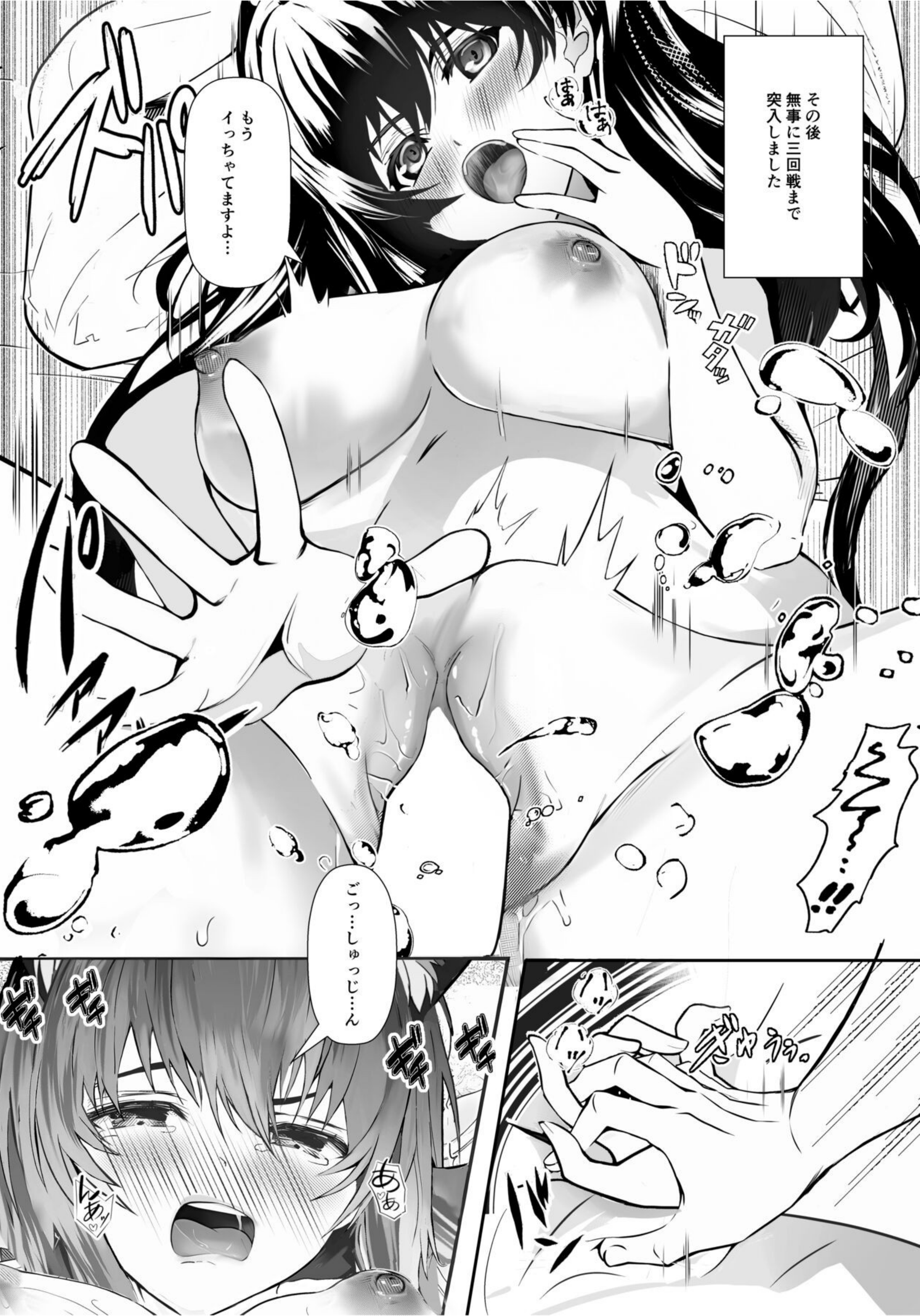
ズ゛ザァ゛
ヤバい…もう
射精る
ドプッ
ズプッ
パンッ
ドビュッ
ドクッドクッ
ドンッ
早く
出してください…
だらぁ… だらぁ…

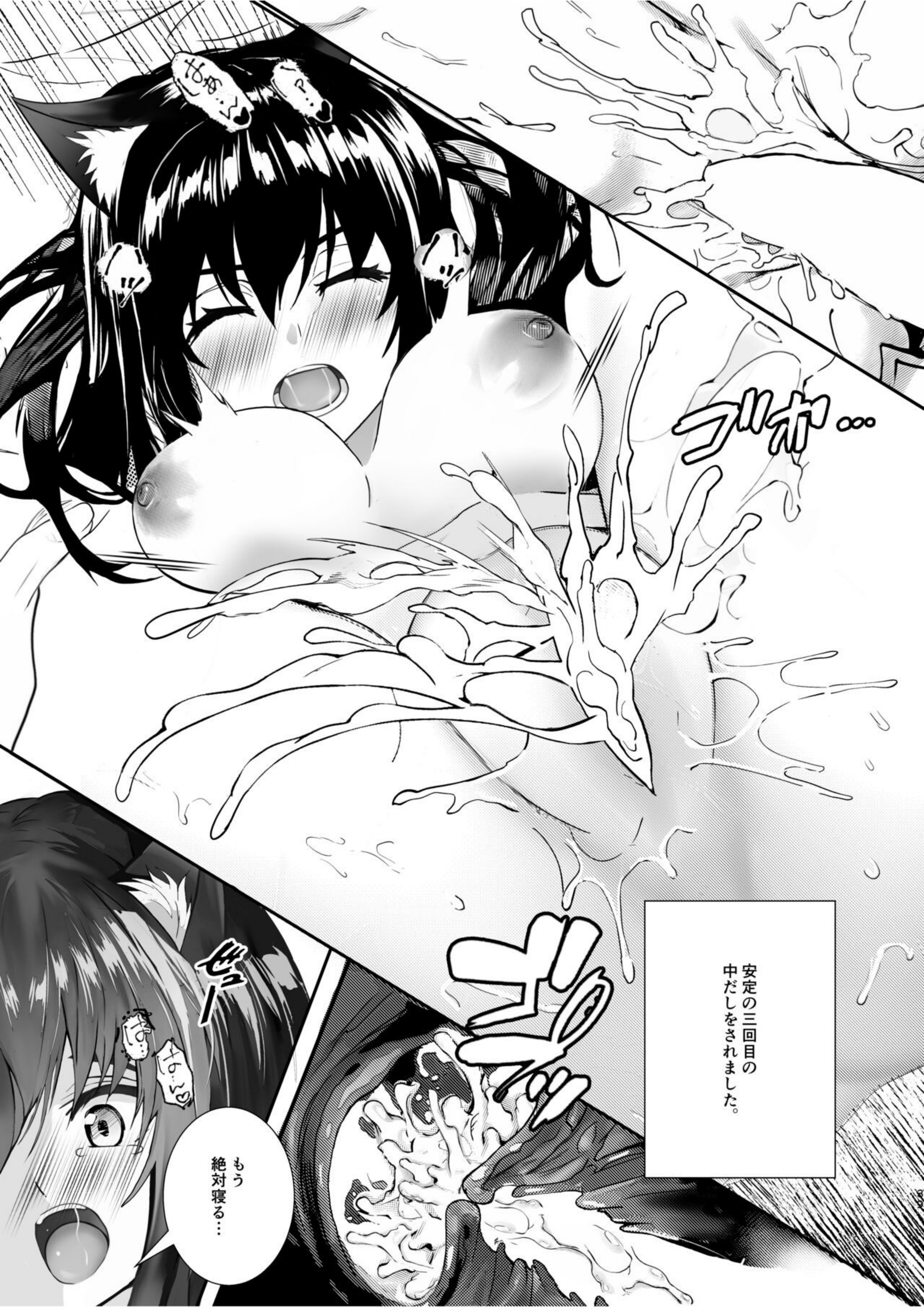

二回目なのに
すごい量だわ…
こんなにたまって
たからあんなに
激しかったんだ…
ギュろっ
ゴプッ
満足してもらえたかな
ハッ
ハッ
くる
ゴポ…
だらぁ…
だらぁ…
すごく
よかったよ
ネロありがとう…
ビ
はぁ
はー…
それは
よかったです…
はぁ…ん♥
ァ…♥
は…
は…ん♥

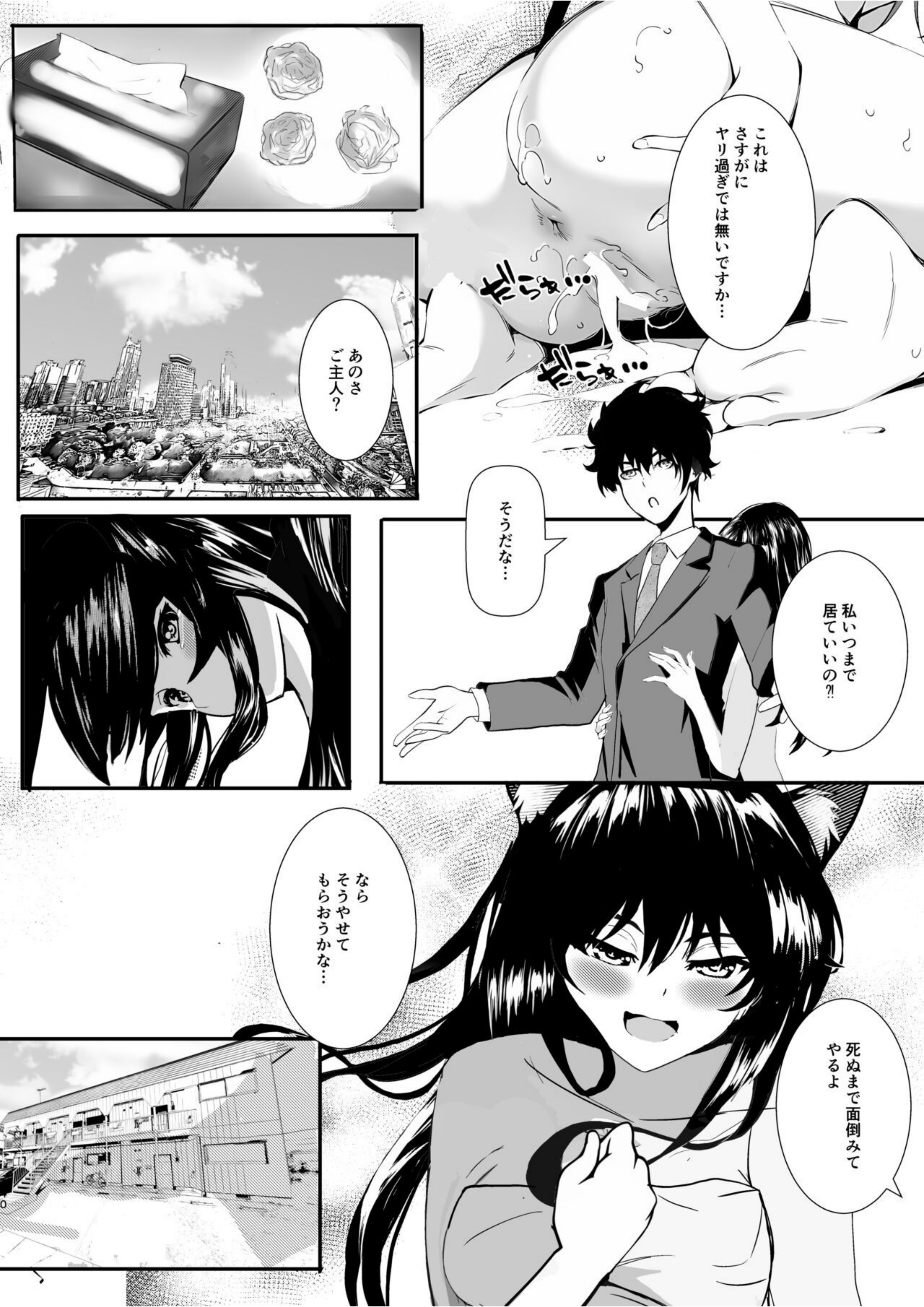
ギチ ギチ
ぎゅぷ ぎゅぷ
ひん♡
パン!! パン!!
ちゅ♡
ちゅ
これでぐっすり
眠れますね…
あっ♡
はぁ
は!…
あっ…うん…
んっ♡


最後に
あと一回しないか?!
…
絶対にムリです
また明日にしましょう
では…
おやすみなさい❤
ギュッ❤
ご主人の
性欲を侮っていた
これは不味い…
さっきまで…
あんなに激しい
セックスをしたのに
これ以上やったら
死んでしまいます
パン‼ パン‼


はぁ…ん♡
へァ…♡
頼むよネロ あと一回だけだから
絶対にムリです 明日があるじゃないですか…
明日野郎はバカ野郎だ！
バカ野郎はご主人でしょ
ドクッドク
イけないですよ やめてください… ご主人…
うん… イけそうだ…


その後
無事に三回戦まで
突入しました
はぁ はぁ
ドンッ
ガタッ
もう
イっちゃてますよ…
ズパ
パァン
ごっ…しゅっじ…ん
ギチ ギチ
ギチ ギチ
ああ
んあッ
ぎゅううぅ


もぁ…♥
ぃ…♥
ゴポ…
安定の三回目の中だしをされました。
ゴプッ
ぜー
はぁ…
はぁ…♥
もう絶対寝る…


これは さすがに ヤリ過ぎでは無いですか…
だらぁ…
だらぁ…
あのさ ご主人?
私いつまで 居ていいの?!
そうだな…
死ぬまで面倒みて やるよ
なら そうやせて もらおうかな…